



教 育 計 画

三草会札幌看護専門学校 第9期生

目 次

1. 教育理念	-----	P 1
2. 期待する卒業生像、教育目的・目標	-----	P 2
3. 教育方針・アドミッションポリシー	-----	P 3
4. 学年別到達目標	-----	P 4～5
5. 教育課程	-----	P 6
6. 教育課程進度表	-----	P 7
7. 3年間の科目時間配分	-----	P 8～9
8. カリキュラム構成図、カリキュラムデザイン	-----	P 10～11
9. 教科外活動	-----	P 12
10. 教科外活動の目的	-----	P 13
11. 科目の授業構成図	-----	P 14～21
12. 科目進度計画表	-----	P 22～26
13. 学内実習・演習進度表	-----	P 27
14. 看護師教育の技術項目(学内実習・演習)	-----	P 28
15. 年間臨地実習計画表	-----	P 29
16. 分野別実習単位・時間・実習施設	-----	P 30
17. 学年年間計画	-----	P 31
18. 年間行事予定一覧表	-----	P 32
19. 学校運営組織図	-----	P 33
20. 教職員公務分掌	-----	P 34～35
21. 領域別看護学担当教員及び業務マトリックス	-----	P 36
22. 看護研究	-----	P 37～38
23. 入学者出身校状況	-----	P 39～40
24. 就職・進学状況	-----	P 41
25. 在籍状況・国家試験結果状況	-----	P 42

教育理念

三草会は「あることの尊さへのアプローチ(一緒に治る喜びを分かちあおう)」が基本理念である。理念の核は「人間の尊厳」と「人間愛」である。

「人間の尊厳」とは人としての尊厳を重んじ、生命を尊び個人の価値観・権利を尊重する事である。

「人間愛」とは豊かな感情体験の中で人を愛する思いやりの心、他者の痛み苦しみに寄り添い慈しみ、あたかも自分の事の様に感じられる優しい心をもつ事である。

この2つの精神を基盤とし社会医療法人と社会福祉法人の2つを併せ持つ三草会は、健康であっても、障害があっても、一人の人間として個人の生活に着眼し、疾病の予防、健康の維持増進、健康回復のために保健・医療・福祉が連携・協働しあい、それぞれの役割機能を発揮し、心を合わせて一体化となり、人々の幸福と健康的な生活の向上を目指して社会貢献している。

以上から三草会の「人間の尊厳」と「人間愛」の理念を基盤とし、三草会札幌看護専門学校は教育理念を

「人間の尊厳と人間愛の精神が学生一人ひとりに根づき、変化し続ける社会の中で看護を実践できるための基礎的能力を養い、人々の健康と幸福な生活の向上を目指し、保健・医療・福祉の中で社会に貢献できる専門職業人の育成を行う」とする。

学生個々を一人の人格を有する人間として尊重し、教育倫理に基づいた信頼関係の構築を基本姿勢とし、目標に向かって自己成長していく過程を支援していく。

期待する卒業生像

1. 看護の対象である人間を、身体的・精神的・社会的な側面をもつ統合された存在であることが理解できる。
2. 様々な健康レベルにある対象に、科学的思考に基づいた看護を実践する基礎的能力が養われている。
3. 自ら他者の思いを受容・共感できる豊かな人間性に育ち、対人関係が築ける。
4. 保健・医療・福祉チームにおける看護師の役割と責任を自覚し、チームの一員として多職種と連携・協働しながら多様な場で生活する人々へ看護を提供できる基礎的能力が養われている。
4. 倫理観に基づいた専門職業人として規律を重んじた自覚と責任のある行動がとれる。
5. 看護の実践力を向上させるために、主体的に学習に取り組む姿勢が身についている。

教育目的

人間の尊厳と人間愛の心を養い、看護師として必要な基礎的知識・技術・態度を習得させ、社会に貢献できる専門職業人を育成する。

教育目標

1. 看護の対象である人間を、身体的・精神的・社会的な側面をもつ統合された存在であることが理解できる能力を養う。
2. 様々な健康レベルにある対象に、科学的思考に基づいた看護を実践する基礎的能力を養う。
3. 自ら他者の思いを受容・共感できる豊かな人間性を育み、対人関係の構築を育くむ。
4. 保健・医療・福祉チームにおける看護師の役割と責任を自覚し、チームの一員として多職種と連携・協働しながら多様な場で生活する人々へ看護を提供できる基礎的能力を養う。
5. 倫理観に基づいた専門職業人として規律を重んじた自覚と責任のある行動を養う。
6. 看護の実践力を向上させるために、主体的に学習に取り組む姿勢を育む。

教育方針

1. 学生が「学びがい」を見出せるよう内的動機づけを行い、目標に向かって自己成長していく過程を支援する。
2. 個別のレディネスに応じた細やかな指導に心がけ、学生がもっている潜在能力を引き出し、最大限に発揮できるように働きかける。
3. 学生が自己の課題を解決する事ができるために「学び方」が身につく学習支援体制を整える。
4. 全ての学生が機会均等に学ぶ権利を保障するための環境を整える。
5. 教員は誠実、真摯に学生と向き合い信頼関係形成に努める。

将来看護師になりたいと夢と志しを抱き入学してくる学生に対し、私達は、現代の若者達の背景や特徴を理解しありのまま受け入れ、学生個々を一人の人格を有する人間として尊重し、教育倫理に基づいた関係の構築を基本姿勢とし、目標に向かって自己成長していく過程を支援していく。

アドミッションポリシー

求める学生像

1. 倫理観に基づく行動がとれる。
専門職業人としての規律を重んじた自覚
社会の一員として責任ある行動
2. 主体的に学習に取り組める。
向上心
積極的に学習課題に取り組む
3. コミュニケーションを円滑にすすめられる。
他者の思いを受容
チームの一員として協働できる
人間関係の構築

学年別到達目標

教育目的

人間の尊厳と人間愛の心を養い、看護師として必要な基礎的知識・技術・態度を習得させ、社会に貢献できる専門職業人を育成する。

教育目標	1 年次到達目標	2 年次到達目標	3 年次到達目標
1. 看護の対象である人間を、身体的・精神的・社会的な側面をもつ統合された存在であることが理解できる能力を養う	1) 人体の構造と機能が理解できる 2) 精神の発達と機能が理解できる 3) 人間の社会的側面を理解することができる 4) ライフステージにおける発達課題を理解することができる	人間の身体的・精神的・社会的な側面の関連を考えることができる	人間は身体的・精神的・社会的な側面をもつ統合された存在であることが理解できる
2 様々な健康レベルにある対象に、科学的思考に基づいた看護を実践する基礎的能力を養う	1) 看護技術には原理・原則があり安全・安楽に実施する必要性を理解できる 2) 看護過程の思考が理解できる 3) 理論の活用が必要になる	1) 看護技術を原理・原則に基づき安全・安楽に実施できる 2) 基本的な看護過程を展開できる 3) 理論を活用することで論理的思考を高める	1) 看護技術を対象の個別性に合わせて応用できる 2) あらゆる対象に看護過程を展開できる 3) 論理的に表現できる
3. 自ら他者の思いを受容・共感できる豊かな人間性と、対人関係の構築を育む	1) 他者の考えを受け入れながら自己の考えも伝えることができる	1) 他者を受容し、状況に合わせた言動がとれる	1) 多様な価値観を受け入れ、対人関係を築ける
4. 保健・医療・福祉チームにおける看護師の役割と責任を自覚し、チームの一員として多職種と連携・協働しながら多様な場で生活する人々へ看護を提供できる基礎的能力を養う。	1) 保健・医療・福祉の概念が理解できる 2) 保健・医療・福祉チームの一員として行動することの自覚がもてる	1) 保健・医療・福祉チームの連携・協働を理解することができる 2) 保健・医療・福祉チームの中の一員として看護師の役割と責任を認識できる	1) 保健・医療・福祉チームの中で連携・協働しながら看護師としての自覚を高め、責任ある行動がとれる

教育目標	1 年次到達目標	2 年次到達目標	3 年次到達目標
5. 倫理観に基づいた専門職業人として規律を重んじた自覚と責任のある行動を養う	看護倫理の重要性が理解できる	1) 看護職に必要な倫理に従って規律ある行動がとれる 2) 看護者のあり方について自分なりの考えをもつことができる	1) 看護倫理に従って常に規律ある行動がとれる 2) 自己の看護観を述べられる
6. 看護の実践力を向上させるために、主体的に学習に取り組む姿勢を育む	1) 主体的に学習し自己の課題を解決するための行動がとれる	1) 自己の課題を解決するために主体的、継続的に学習することができる	1) 常に自己の課題に取り組む、継続して学習する姿勢が身についている

三草会札幌看護専門学校 教育課程 別表第1号

科目		単位数	時間数			備考
			講義	実習	計	
基礎分野	看護物理学	1	30		30	
	論理学	1	30		30	
	国語表現法	1	15		15	
	英語Ⅰ	1	30		30	
	英語Ⅱ	1	30		30	
	情報科学と統計	1	30		30	
	心理学	1	30		30	
	コミュニケーション	1	30		30	
	文化人類学	1	30		30	
	倫理学	1	30		30	
	音楽と表現技法	1	30		30	
	社会学	1	30		30	
	家族論	1	15		15	
	教育学	1	30		30	
小計		14	390		390	
専門基礎分野	解剖生理学Ⅰ	1	15		15	
	解剖生理学Ⅱ	1	30		30	
	解剖生理学Ⅲ	1	30		30	
	解剖生理学Ⅳ	1	30		30	
	解剖生理学演習	1	30		30	
	病理学総論	1	15		15	
	生化学	1	30		30	
	栄養学	1	15		15	
	人の生活と食事	1	15		15	
	臨床薬理学	1	30		30	
	臨床検査	1	15		15	
	微生物学	1	30		30	
	病態と治療Ⅰ	1	30		30	
	病態と治療Ⅱ	1	30		30	
	病態と治療Ⅲ	1	30		30	
	治療法概論	1	30		30	
	総合医療論	1	15		15	
	社会福祉	1	30		30	
	チーム医療論	1	15		15	
	関係法規	1	30		30	
	リハビリテーション	1	15		15	
	公衆衛生学	1	15		15	
小計		22	525	0	525	
専門分野	基礎看護学					
	看護学概論Ⅰ	1	30		30	
	看護学概論Ⅱ	1	15		15	
	共通援助技術	1	30		30	
	生活援助技術Ⅰ	1	30		30	
	生活援助技術Ⅱ	1	30		30	
	生活援助技術Ⅲ	1	30		30	
	フィジカルアセスメント技術	1	30		30	
	診療援助技術	1	30		30	
	看護展開技術	1	30		30	
	生活援助技術実践	1	30		30	
	臨床看護総論	1	30		30	
	看護研究	1	30		30	
	地域・在宅看護論					
	地域・在宅看護論演習	1	15		15	
	地域・在宅看護論総論Ⅰ	1	15		15	
	地域・在宅看護論総論Ⅱ	1	15		15	
	地域・在宅看護論総論Ⅲ	1	30		30	
	地域・在宅看護論方法論Ⅰ	1	30		30	
	地域・在宅看護論方法論Ⅱ	1	30		30	
	成人看護学					
	成人看護学総論Ⅰ	1	15		15	
	成人看護学総論Ⅱ	1	30		30	
	成人看護学方法論Ⅰ	1	30		30	
	成人看護学方法論Ⅱ	1	30		30	
	成人看護学方法論Ⅲ	1	30		30	
	成人看護学方法論Ⅳ	1	30		30	
	老年看護学					
	老年看護学総論Ⅰ	1	15		15	
	老年看護学総論Ⅱ	1	30		30	
	老年看護学方法論Ⅰ	1	30		30	
	老年看護学方法論Ⅱ	1	30		30	
	小児看護学					
	小児看護学総論Ⅰ	1	15		15	
	小児看護学総論Ⅱ	1	30		30	
	小児看護学方法論Ⅰ	1	30		30	
	小児看護学方法論Ⅱ	1	30		30	
	母性看護学					
	母性看護学総論Ⅰ	1	15		15	
	母性看護学総論Ⅱ	1	30		30	
	母性看護学方法論Ⅰ	1	30		30	
	母性看護学方法論Ⅱ	1	30		30	
	精神看護学					
	精神看護学総論Ⅰ	1	15		15	
	精神看護学総論Ⅱ	1	30		30	
	精神看護学方法論Ⅰ	1	30		30	
	精神看護学方法論Ⅱ	1	30		30	
	看護の統合と実践					
	看護管理	1	15		15	
	災害看護	1	15		15	
	災害看護演習	1	15		15	
	看護技術統合実践	1	30		30	
	臨地実習					
	基礎看護学実習Ⅰ	2		90	90	
	基礎看護学実習Ⅱ	2		90	90	
	地域・在宅看護論実習Ⅰ	1		30	30	
	地域・在宅看護論実習Ⅱ	2		90	90	
	成人看護学実習Ⅰ	2		90	90	
	成人看護学実習Ⅱ	2		90	90	
	老年看護学実習Ⅰ	2		90	90	
	老年看護学実習Ⅱ	2		90	90	
	老年看護学実習Ⅲ	2		90	90	
	小児看護学実習	2		90	90	
	母性看護学実習	2		90	90	
	精神看護学実習	2		90	90	
	看護統合実習	2		90	90	
小計		69	1140	1110	2250	
総計		105	2055	1110	3165	

三草会札幌看護専門学校

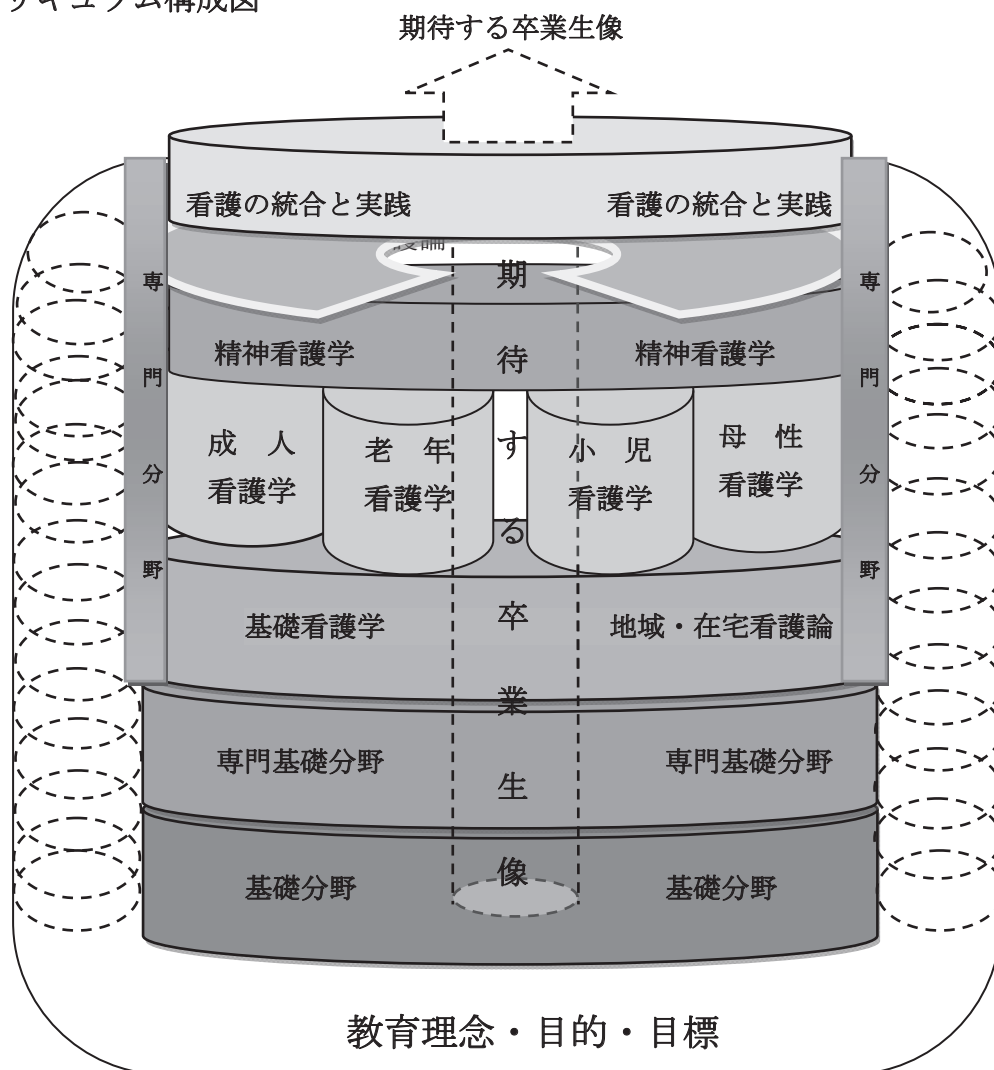
(4月)入学生入学ガイダンス 新入生交流対話 新入生歓迎会 実習開始 個人情報取扱い講座
健康診断実施ガイダンス (5月)春休み 避難訓練・健康診断 (7月)定時
卒業前ガイダンス 職内実習開始 実習ガイダンス (9月)札幌地区実習 2年生春期本学見学
(10月)1泊2日実習 実習ガイダンス (3月)予備会 卒業特約講演 2年生春期卒業式

3年間の科目時間配分

教育内容		基準 単位		科目名称	単位	年間授業時間数			
						1年次	2年次	3年次	合計
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活・社会の理解	14	1	看護物理学	1	30			30
			2	論理学	1		30		30
			3	国語表現法	1	15			15
			4	英語Ⅰ	1	30			30
			5	英語Ⅱ	1			30	30
			6	情報科学と統計	1		30		30
			7	心理学	1	30			30
			8	コミュニケーション	1	30			30
			9	文化人類学	1	30			30
			10	倫理学	1	30			30
			11	音楽と表現技法	1	30			30
			12	社会学	1			30	30
			13	家族論	1	15			15
			14	教育	1			30	30
		14		小計	14	240	60	90	390
専門基礎分野	人体の構造と機能	16	15	解剖生理学Ⅰ	1	15			15
			16	解剖生理学Ⅱ	1	30			30
			17	解剖生理学Ⅲ	1	30			30
			18	解剖生理学Ⅳ	1	30			30
			19	解剖生理学演習	1	30			30
			20	病理学総論	1	15			15
			21	生化学	1	30			30
			22	栄養学	1	15			15
			23	人の生活と食事	1	15			15
			24	臨床薬理学	1	30			30
	疾病の成り立ちと 回復の促進		25	臨床検査	1		15		15
			26	微生物学	1	30			30
			27	病態と治療Ⅰ	1	30			30
			28	病態と治療Ⅱ	1	30			30
			29	病態と治療Ⅲ	1		30		30
			30	治療法概論	1		30		30
			31	総合医療論	1			15	15
	健康支援と 社会保障制度	6	32	社会福祉	1		30		30
			33	チーム医療論	1	15			15
			34	関係法	1		30		30
			35	リハビリテーション	1	15			15
			36	公衆衛生学	1	15			15
		22		小計	22	375	135	15	525
専門分野	基礎看護学	12	37	看護学概論Ⅰ	1	30			30
			38	看護学概論Ⅱ	1	15			15
			39	共通援助技術	1	30			30
			40	生活援助技術Ⅰ	1	30			30
			41	生活援助技術Ⅱ	1	30			30
			42	生活援助技術Ⅲ	1	30			30
			43	フィジカルアセスメント技術	1	30			30
			44	診療援助技術	1	30			30
			45	看護展開技術	1	30			30
			46	生活援助技術実践	1	30			30
			47	臨床看護総論	1	30			30
			48	看護研究	1		30		30
	地域・在宅看護論	6	49	地域・在宅看護論演習	1	15			15
			50	地域・在宅看護論総論Ⅰ	1	15			15
			51	地域・在宅看護論総論Ⅱ	1		15		15
			52	地域・在宅看護論総論Ⅲ	1		30		30
			53	地域・在宅看護論方法論Ⅰ	1		30		30
			54	地域・在宅看護論方法論Ⅱ	1		30		30

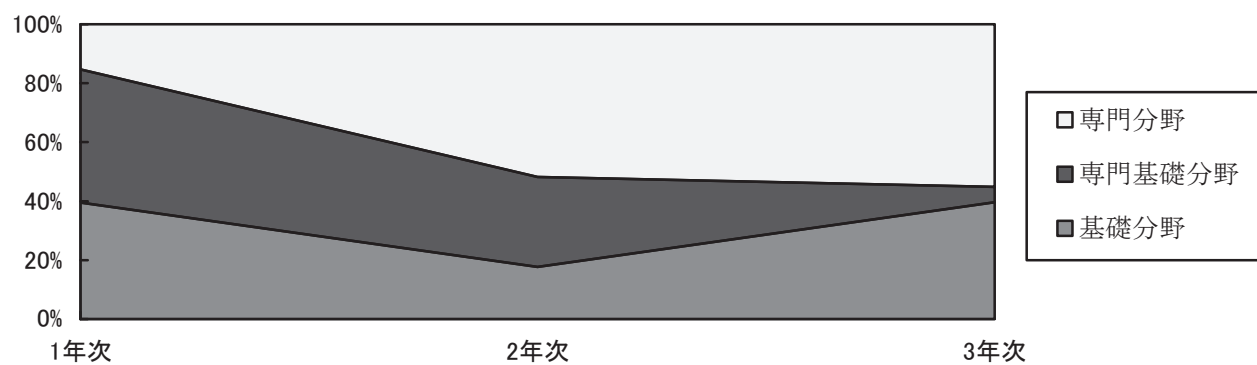
教育内容		基準 単位		科目名称	単位	年間授業時間数				
						1年次	2年次	3年次	合計	
専門分野	成人看護学	6	55	成人看護学総論Ⅰ	1	15			15	
			56	成人看護学総論Ⅱ	1	30			30	
			57	成人看護学方法論Ⅰ	1		30		30	
			58	成人看護学方法論Ⅱ	1		30		30	
			59	成人看護学方法論Ⅲ	1		30		30	
			60	成人看護学方法論Ⅳ	1		30		30	
	老年看護学	4	61	老年看護学総論Ⅰ	1	15			15	
			62	老年看護学総論Ⅱ	1	30			30	
			63	老年看護学方法論Ⅰ	1		30		30	
			64	老年看護学方法論Ⅱ	1		30		30	
	小児看護学	4	65	小児看護学総論Ⅰ	1	15			15	
			66	小児看護学総論Ⅱ	1		30		30	
			67	小児看護学方法論Ⅰ	1		30		30	
			68	小児看護学方法論Ⅱ	1		30		30	
	母性看護学	4	69	母性看護学総論Ⅰ	1	15			15	
			70	母性看護学総論Ⅱ	1		30		30	
			71	母性看護学方法論Ⅰ	1		30		30	
			72	母性看護学方法論Ⅱ	1		30		30	
	精神看護学	4	73	精神看護学総論Ⅰ	1	15			15	
			74	精神看護学総論Ⅱ	1		30		30	
			75	精神看護学方法論Ⅰ	1		30		30	
			76	精神看護学方法論Ⅱ	1		30		30	
	看護の統合と実践	4	77	看護管理	1			15	15	
			78	災害看護	1			15	15	
			79	災害看護演習	1			15	15	
			80	看護技術統合実践	1			30	30	
	臨地実習	4	81	基礎看護学実習Ⅰ	2	90			90	
			82	基礎看護学実習Ⅱ	2		90		90	
		3	83	地域・在宅看護論実習Ⅰ	1	30			30	
			84	地域・在宅看護論実習Ⅱ	2			90	90	
4		85	成人看護学実習Ⅰ	2		90		90		
		86	成人看護学実習Ⅱ	2			90	90		
6		87	老年看護学実習Ⅰ	2		90		90		
		88	老年看護学実習Ⅱ	2		90		90		
		89	老年看護学実習Ⅲ	2			90	90		
2		90	小児看護学実習	2			90	90		
2		91	母性看護学実習	2			90	90		
2		92	精神看護学実習	2			90	90		
2		93	看護統合実習	2			90	90		
		69		小計	69	600	945	705	2250	
合計			105		合計	105	1215	1140	810	3165

カリキュラム構成図



カリキュラム構築にあたり、教育理念、目的、目標は看護基礎教育の根幹になるものと考え、教育内容全体を包んだ。期待する卒業生像を中心の柱として考え、常に各分野が漸進的、反復的、弾力的に学習を積み上げ教育をしていく。基礎分野は、看護教育の基盤となる分野であり一番下台に置き全体を支える。ここでは看護の対象である人間理解と、生活者として幅広く理解をさせ、看護実践の基盤となる科学的・論理的思考を深める学習にする。専門基礎分野は、人体ならびに疾病を系統立てて理解させ、健康を支援できるための土台になるものと考え、基礎分野の上台に置いた。専門分野である基礎看護学は看護の本質と理論を学び、看護実践の基礎となる知識・技術・態度を習得する学であり、各看護学の基盤である。また地域・在宅看護論は成人、老年、小児、母性そして精神の対象を越えて、地域、在宅で生活するすべての人々を対象とすることで基礎看護学と並行した学びが必要と考え同じ土台に置き、漸進的に進めていく位置付けとした。その上台には成人、老年、小児、母性看護学が位置するが、地域・在宅看護論と精神看護学は全ての発達段階にある人々を対象とするので各看護学全体の上に置いた。またこれまでに習得してきた知識・技術・態度を更に応用、専門性を高め発展させることを目指し、各看護学の上に看護の統合と実践を置いた。

カリキュラムデザイン



	1年次	2年次	3年次
基礎分野	62%	15%	23%
専門基礎分野	71%	26%	3%
専門分野	24%	44%	32%

カリキュラムデザインは授業進度が、基礎分野、専門基礎分野の進行とともに専門分野の比重が多くなる漸進型カリキュラムである。

教科外活動

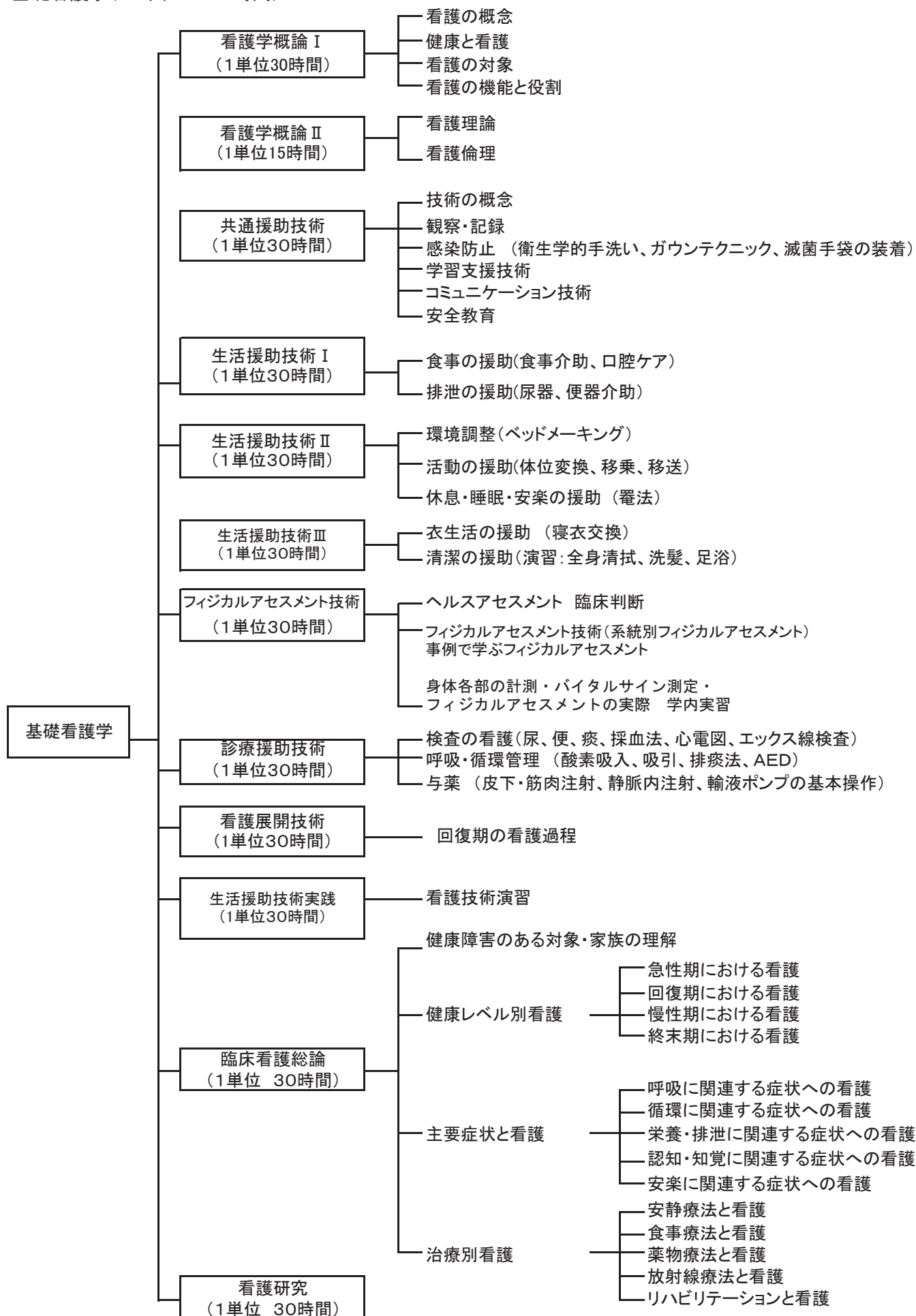
	1年生	時間	2年生	時間	3年生	時間
4月	入学式	8	新入生歓迎会	2	実習ガイダンス	24
	入学ガイダンス	8	実習励会(2.3年生対象)	4	新入生歓迎会	2
	新入生歓迎会	2	健診(計測・血液X-P検査)	4	健診(計測検査)	2
	実習励会(2.3年生対象)	4	学校健診(校医)	2	学校健診(校医)	2
	個人情報の取り扱い講話	2			実習励会(2.3年生対象)	2
	1年生間交流研修	8				
	健診(計測・血液X-P検査)	4				
	東警察署防犯対策講話	2				
5月	看護の日	2	基礎看護学実習Ⅱ 実習ガイダンス	8		
	学校健診(校医)	2	基礎看護学実習Ⅱ 実習報告会	4		
	避難訓練	2				
6月						
7月	遠足	8	遠足	8		
8月	戴帽式	8	実習励会(1年生対象)	2		
	実習励会(1年生対象)	2				
	地域・在宅看護論 実習ガイダンス	8				
9月	地域・在宅看護論Ⅰ 実習報告会	4	成人・老年看護学実習 実習ガイダンス	12		
	札幌医科大学解剖 標本館見学	4				
10月	防火訓練	2				
11月			成人・老年看護学実習 実習報告会	4	血液セミナー	2
					北海道看護研究学会 参加	4
					実習ガイダンス	8
12月						
1月	基礎看護学実習Ⅰ ガイダンス	8				
2月					看護師国家試験	8
3月	予餞会	2	予餞会	2	予餞会	2
	卒業特別講演	2	卒業特別講演	2	卒業特別講演	2
	2年生看護研究発表 聴講	2	実習施設説明会	16	卒業報告会	4
			健診(血液X-P検査)	2	卒業式	8
小計	94	時間	72	時間	70	時間
総計	236 時間					

教科外活動の目的

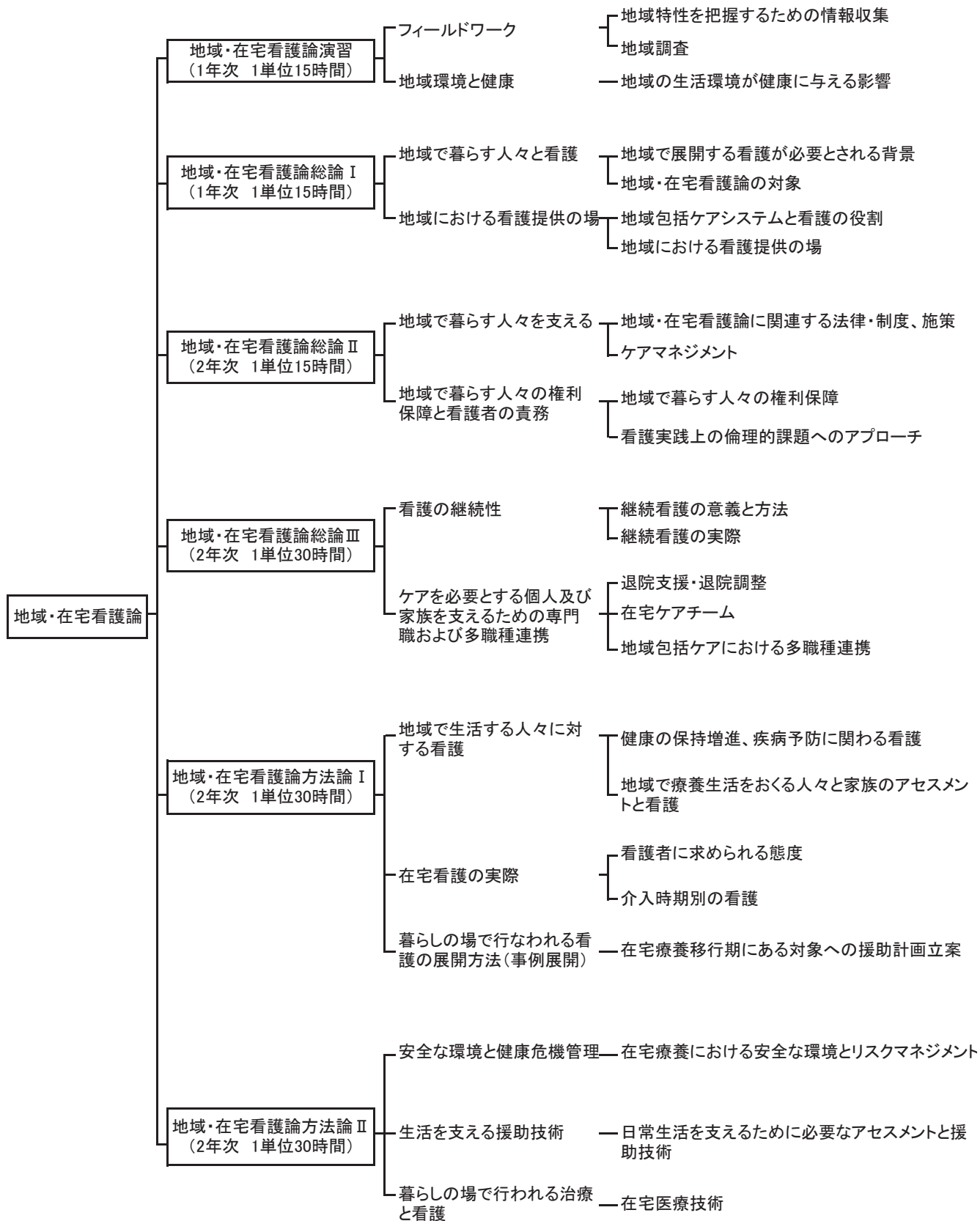
1. 学年の枠を超え価値観の多様性に触れ、望ましい人間関係を形成するために必要な能力を育成する。
2. 組織・集団の一員であるという自覚をもち、責任ある行動、調整力を育成する。

項 目	目 的
入学式	看護を学ぶための出発点とし、看護者になる自覚をもつ
入学ガイダンス	看護基礎教育の目指すものを理解し、新しい環境に適応できるようにする 学校生活が円滑に行えるよう心構えをもたせる ① 学校の教育方針と学生の教育態度の確認 ② 学習への意欲をもち立てさせ、自己目標を明らかにさせる ③ 授業に入る体制を整えさせる ④ 卒業までの学生の学習態度を身に付けさせる ⑤ 学生同士、教員同士、学生と教員の人間関係の場
新入生歓迎会	新一年生の先輩として、教員とともに歓迎交流の会とする
実習激励会	学生個々が臨地実習の目標達成を願い、学生相互の激励の場とする
1 年生間交流研修	新一年生間の交流をとおして、お互いを理解し仲間作りの機会とする
防犯対策講話	東警察署より防犯対策の知識を学び自己の生活管理に役立て健全な学校生活を送る
個人情報の取り扱い講話	弁護士による講話から本校の学生として法令を遵守した日常生活を送る
健康診断・血液検査・胸部レントゲン撮影	学生の健康状態を把握し、学生個々が健康管理の重要性を自覚する
防火訓練	災害時の対処方法を学び、安全に対する知識と関心を深め事故防止に努める
遠足	学生・教員間の交流を深め、集団生活のあり方を学ぶ
看護の日	地域でのボランティア活動を通して地域住民、仲間とのつながりを実感する
戴帽式	看護に対する学びの姿勢を整え、看護の精神を受け継ぐ動機づけの場とする
北海道看護研究学会聴講	① 北海道看護職員の活動の実際に参加することで、自己における専門職としての意識向上をはかる ② 看護研究に役立てる
札幌医科大学標本館見学	歴史ある医療に関する標本を見学することで、解剖生理学他基礎知識を深める
血液セミナー	血液製剤の一般的知識と献血の意義を理解する
実習ガイダンス	実習が円滑に行えるよう心構えをもたせる ① 実習の目的と学生の教育態度の確認 ② 実習への意欲をもち立てさせ、自己目標を明らかにさせる ③ 実習に入る体制を整えさせる ④ 卒業までの学生の学習態度を自覚させる
実習報告会	実践した看護を振り返り自己課題を明確にし、看護観を確立していく
2 年生看護研究発表聴講	先輩達の研究発表を聴講する事で、看護研究の意義を理解し看護の学びを深める
予餞会	卒業前に卒業生に対して旅立ちを祝う会
卒業報告会	3 年間の学業を修め学校での学び仲間との思い出、将来の目標等を、教員参加で語る会
卒業特別講演	社会的視野を広げ教養を深めるとともに、広い視野から看護を考える機会とする
卒業式	看護基礎教育の全課程修了者に証書授与し認定する 卒業生は看護基礎教育の修了者であることの自覚を高める 在校生は卒業生を祝い、思いやりの心を養う

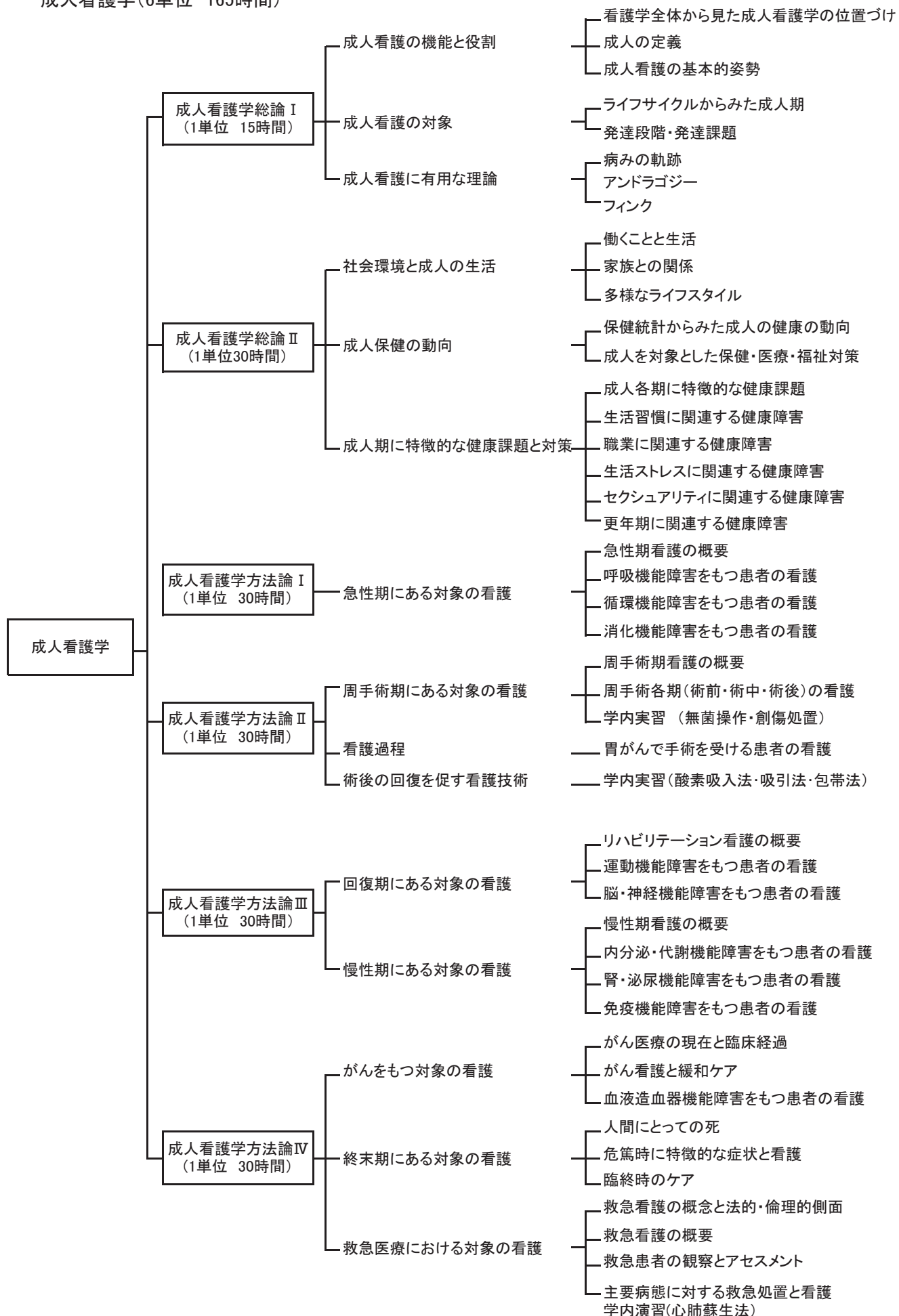
基礎看護学(12単位 345時間)



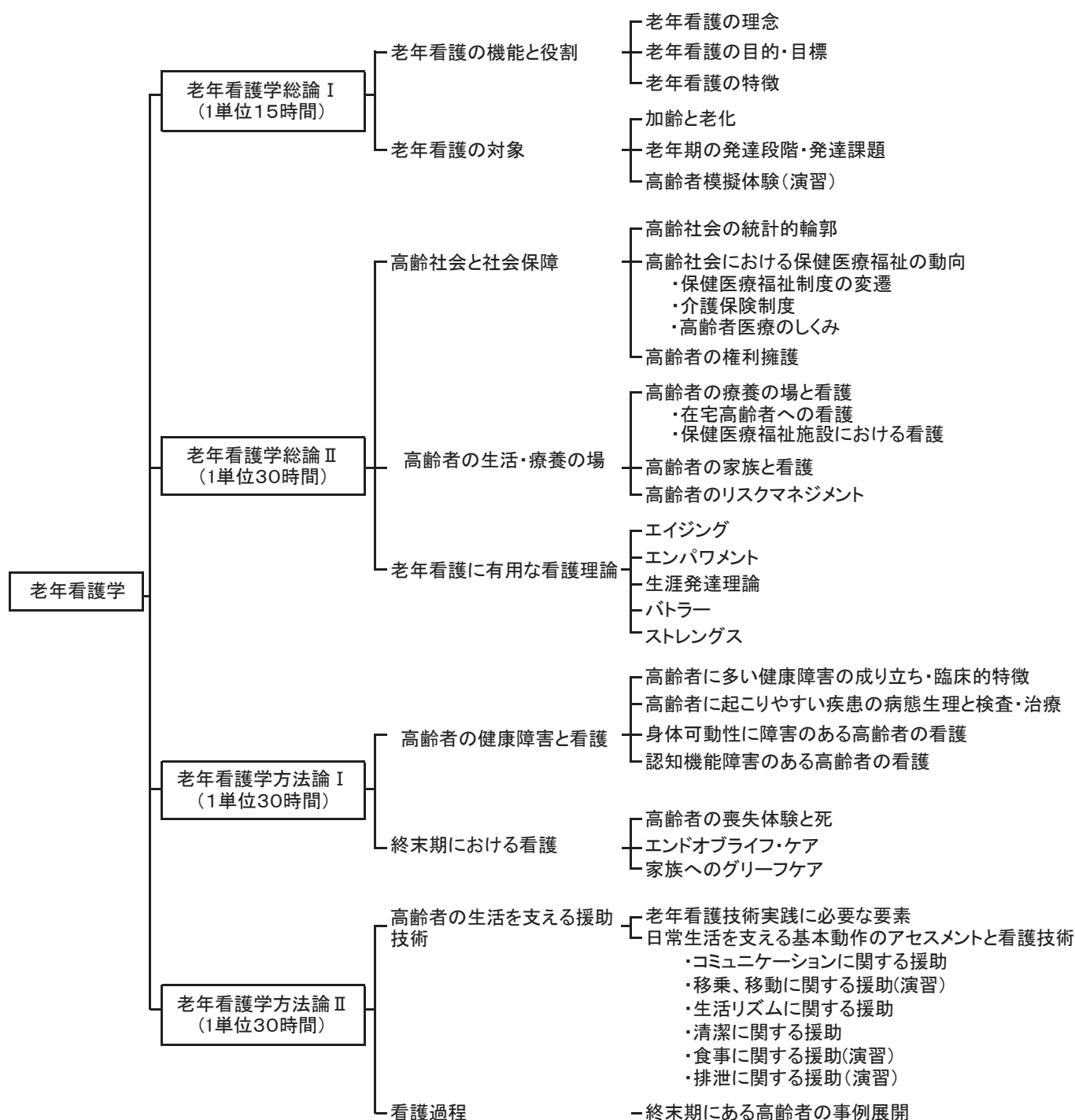
地域・在宅看護論(6単位 135時間)



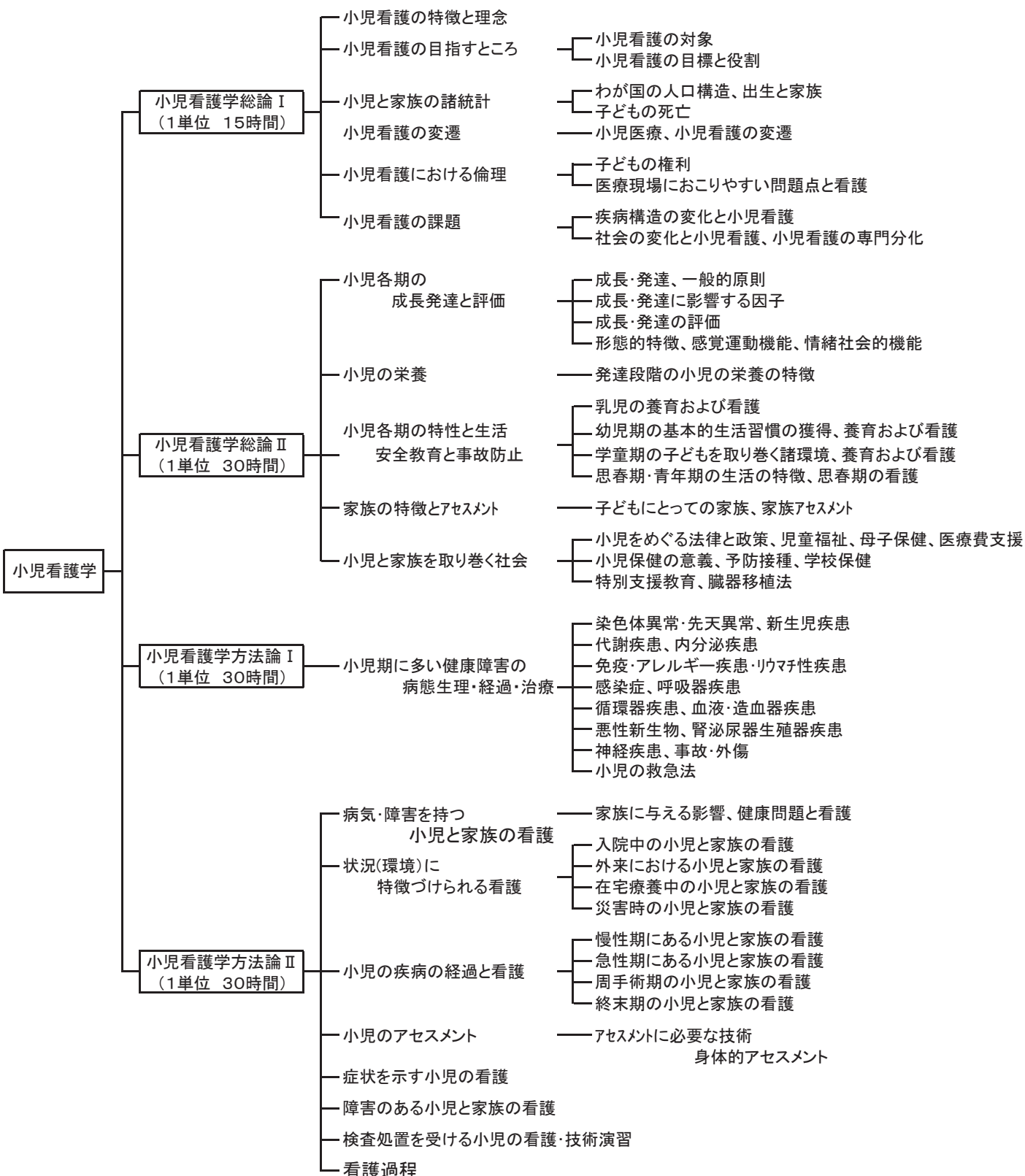
成人看護学(6単位 165時間)



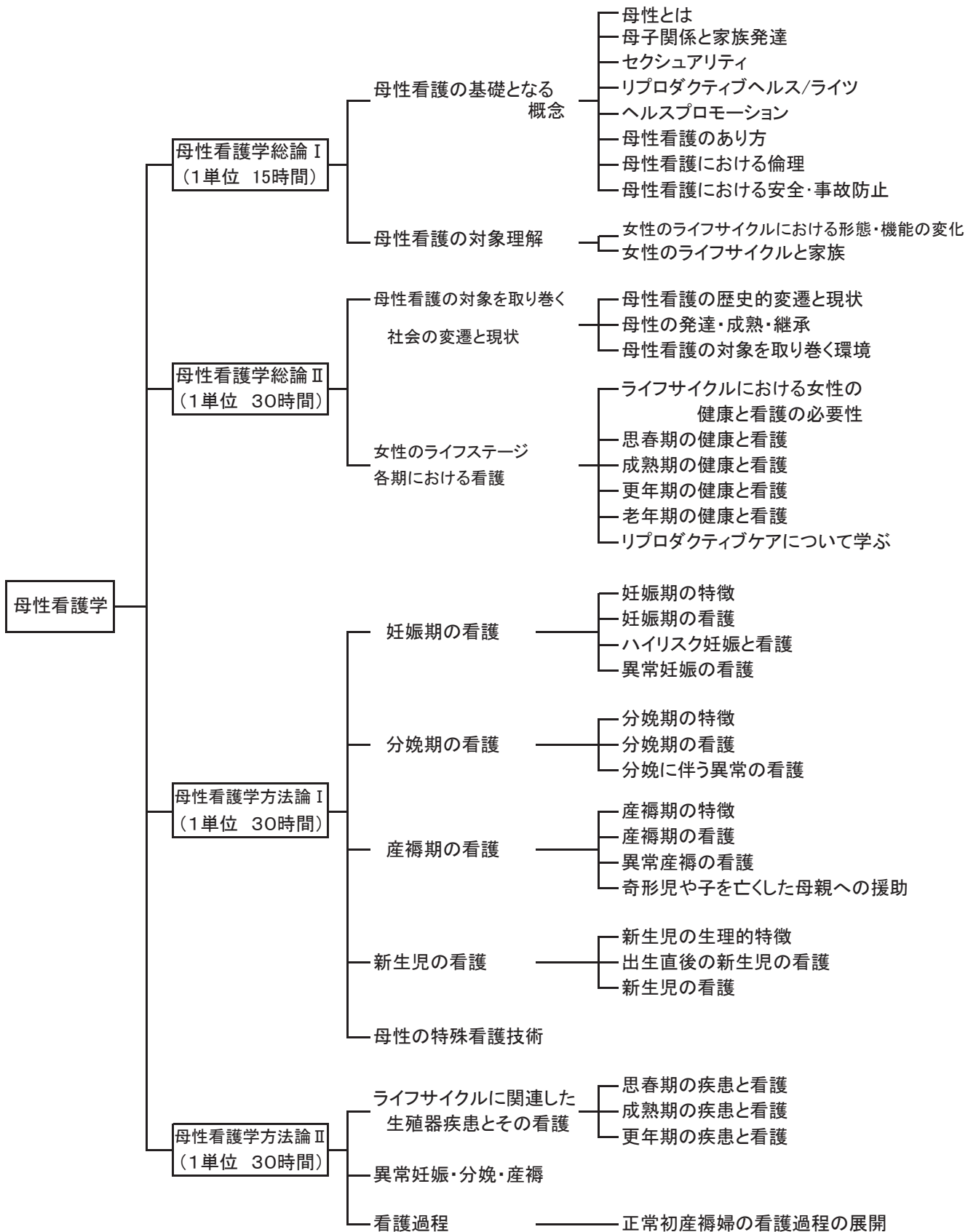
老年看護学(4単位 105時間)



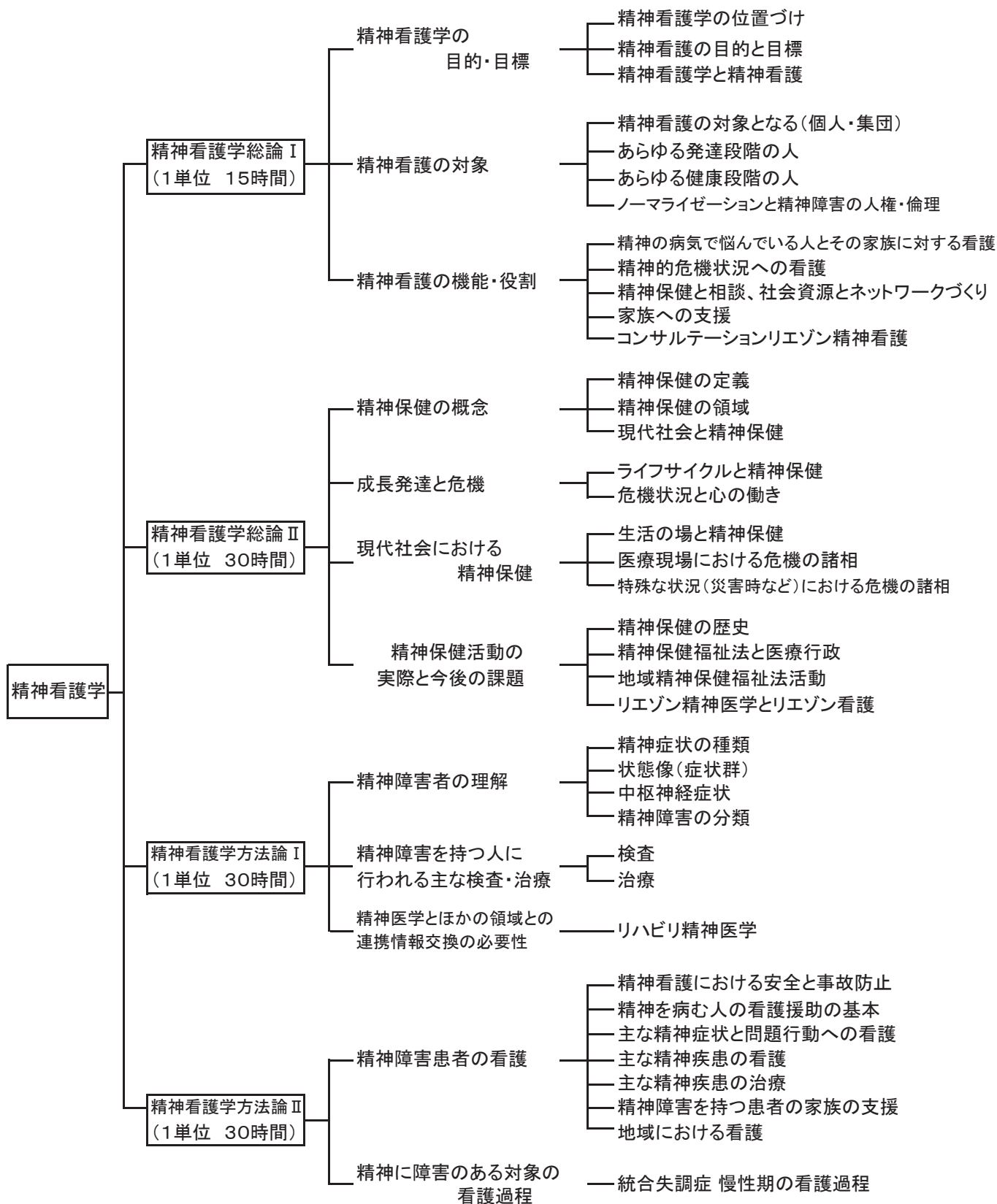
小児看護学 (4単位 105時間)



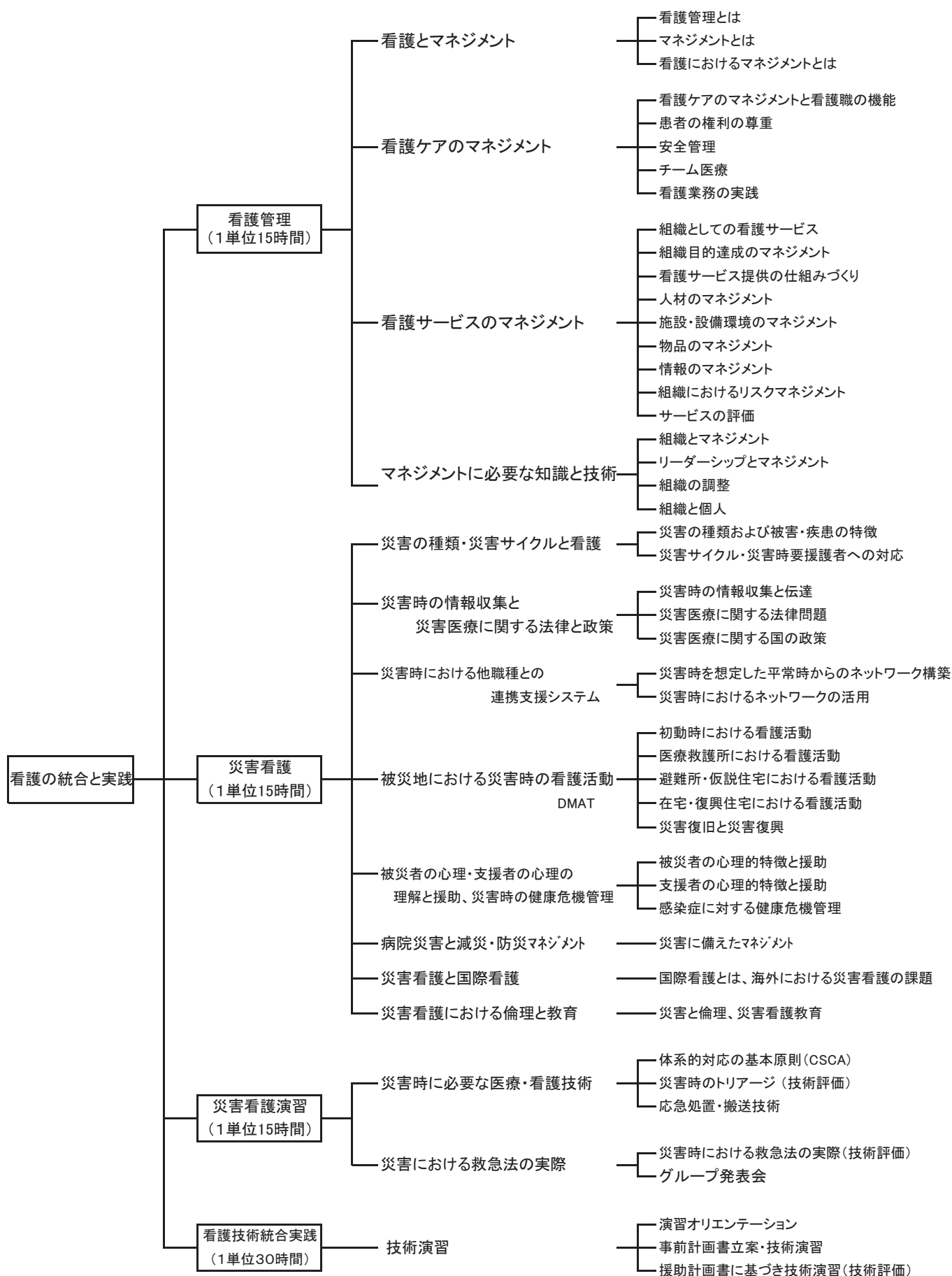
母性看護学 (4単位 105時間)



精神看護学（4単位 105時間）



看護の統合と実践 (4単位 75時間)



科目進度計画表(1学年)

教科科目		担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
基礎分野	看護物理学	政野	→	→	→									
	国語表現法	福田							→	→	→			
	英語 I	佐藤有	→	→	→									
	心理学	久原		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	コミュニケーション	石塚	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	文化人類学	菊地												
	倫理学	佐藤郁恵		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	音楽と表現技法	伏見		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	家族論	堺		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	解剖生理学 I	佐藤惇	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
専門基礎分野	解剖生理学 II	後山 賀来 中嶋	運動器→呼吸器系→循環器											
	解剖生理学 III	一木 河田 鈴木 中嶋	消化器→血液・免疫系→腎泌尿→代謝分泌アレルギ											
	解剖生理学 IV	杉本 佐野 安彦 中嶋	脳神経→生殖器→皮膚→耳鼻科、眼科、歯科											
	解剖生理学演習	中嶋 吉田真												
	病理学総論	佐藤惇		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	生化学	佐藤惇		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	栄養学	上坂		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	人の生活と食事	上坂		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	臨床薬理学	山崎		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	微生物学	澤田		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	病態と治療 I	後山 賀来 中嶋	運動器・循環器 呼吸器											
	病態と治療 II	一木 河田 鈴木 中嶋	消化器→血液・免疫系→腎泌尿→代謝分泌アレルギ											
	チーム医療論	土畠		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	リハビリテーション	富樫		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	公衆衛生学	都築		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

1 学年

	教科科目												担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 学年	専門分野	基礎看護学	看護学概論 I	藤原	――→																				
			看護学概論 II	三上			――→																		
			共通援助技術	藤原 鎌田	技術の概念・感染予防 安全教育・KYT	――→																			
			生活援助技術 I	中村 坂本					食事――→ 排泄――→																
			生活援助技術 II	中村 坂本		――→	活動・環境・休息・睡眠																		
			生活援助技術 III	吉田 中村																	衣生活 清潔の援助	――→			
			フィジカルアセスメント技術	藤原 成田																	フィジカルアセスメント バイタルサイン	――→			
			診療援助技術	三上 成田																					診療・検査・処置・薬 注射――→
			看護展開技術	齊藤																	看護過程・事例展開(回復期の看護過程)	――→			
			生活援助技術実践	藤原																					――→
			臨床看護総論	三上 中村 坂本																	健康障害にある対象・家族理解 健康レベル別看護・主 要症状と看護・治療別看護	――→			
			地域・在宅看護論演習	櫻井			――→																		
			地域・在宅看護論総論 I	櫻井																					
			成人看護学総論 I	三上																	成人看護の機能と役割	――→			
			成人看護学総論 II	三上 鎌田																					社会環境と成人の生 活、成人保健の動向、
			老年看護学総論 I	齊藤																	老年看護の機能と役割 老年看護の対象	――→			
			老年看護学総論 II	齊藤 稲垣																	高齢社会と社会保障・高齢者の生活療養の場、老年看護に 有用な看護理論	――→			
			小児看護学総論 I	坂本																	小児看護の変遷・目的と役割	――→			
			母性看護学総論 I	吉田																	母性看護の基盤となる概念 母性看護の対象理解	――→			
			精神看護学総論 I	鎌田																					精神看護の意義、対 象・役割・機能の理解 ――→
			基礎看護学実習 I	藤原																					――→
			地域・在宅看護論実習 I	櫻井																					

科目進捗計画表(2学年)

教科科目		担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	基礎	論理学	石飛											
	情報科学と統計	浅尾												
専門基礎分野	臨床検査	植木												
	病態と治療Ⅲ	杉本 佐野 中嶋 安彦												
基礎分野	治療法概論	蔵前 住田												
	社会福祉	星												
基礎看護	関係法規	水野												
	看護研究	吉田												
地域・在宅看護論	地域・在宅看護論総論Ⅱ	照井			地域で暮らす人々を支える権利保障と看護師の責務									
	地域・在宅看護論総論Ⅲ	高橋(佳) 櫻井			看護の継続性 ケアを必要とする個人及び家族をささえるための専門職及び他職種連携									
地域・在宅看護論	地域・在宅看護論方法論Ⅰ	高橋(都) 櫻井												地域で生活する人々に対する看護 在宅看護の実践 暮らしの場で行われる看護の展開方法
	地域・在宅看護論方法論Ⅱ	松木 櫻井 富田(柴)												安全な環境と健康危機管理 生活を支える援助技術 暮らしの場で行われる治療と看護
成人看護学	成人看護学方法論Ⅰ	磯田 小山内 赤石			消化器・循環器 呼吸器									
	成人看護学方法論Ⅱ	成田 三上					周手術期・術後の回復を促進する技術 看護過程							
成人看護学	成人看護学方法論Ⅲ	鎌田 柳引 伊藤 福島 成田												
	成人看護学方法論Ⅳ	渡辺 渡邊 成田						がんをもつ対象の看護、終末期にある看護 救急医療にある対象の看護 救急蘇生演習						
老年看護学	老年看護学方法論Ⅰ	富田 高木 原谷			高齢者の特徴的疾患 認知症の看護 可動性障害・コミュニケーション障害のある高齢者 終末期の看護									
	老年看護学方法論Ⅱ	齊藤			高齢者の生活を支える援助技術 看護過程									
小児看護学	小児看護学総論Ⅱ	山谷 大久保 坂本			子どもと家族を取り巻く社会 子どもの成長発達・子どもの栄養 小児各期の特徴と生活家族アセスメント									
	小児看護学方法論Ⅰ	大久保						小児期に多い健康障害の病態生理・経過・治療						
母性看護学	小児看護学方法論Ⅱ	大場 宮部 坂本						障害を持つ小児と家族 疾病の経過と看護・小児の看護技術・看護過程						
	母性看護学総論Ⅱ	吉田か						母性の対象を取り巻く社会の変遷・ 母性看護の課題						
母性看護学	母性看護学方法論Ⅰ	吉藤 吉田か						妊娠・分娩期・産褥期 特殊技術						
	母性看護学方法論Ⅱ	佐野 吉田か						生殖器疾患と看護 看護過程						
精神看護学	精神看護学総論Ⅱ	三浦												
	精神看護学方法論Ⅰ	村本												
	精神看護学方法論Ⅱ	鎌田 佐々木眞												精神障害者の看護 看護過程

	教科科目		担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2年生	臨地実習	看護基礎学	基礎看護学実習Ⅱ		↔										
		看護成人学	成人看護学実習Ⅰ						↕	↔	↗				
		看護老年学	老年看護学実習Ⅰ						↕	↔	↗				
			老年看護学実習Ⅱ						↙	↔	↖				

科目進捗計画表(3学年)

教科科目		担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3 学年	基礎分野	英語Ⅱ									↑			
		社会学									↑			
		教育学									↑			
	専門基礎	総合医療論								↑				
		看護管理						看護サービスのマネジメントを取り巻く規制制度 マネジメントに必要と技術						
		災害看護						↑						
	専門分野	災害看護演習							災害演習→					
		看護技術統合実践							技術演習→					
		成人看護学実習Ⅱ		↓					↑					
	臨地実習	老年看護学実習Ⅲ	↓						↑					
		小児看護学実習	↓				↑							
		母性看護学実習	↓						↑					
		精神看護学実習	↓					↑						
		地域・在宅看護論実習Ⅰ	↓					↑						
		看護統合実習								↕				

学内実習・演習進度表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1学年											基礎看護学実習Ⅰ	
			共通援助技術 → ・ガウンテクニック ・衛生的な手洗い ・滅菌手袋の装着 ・KYT演習	生活援助技術Ⅱ → ・体位変換・移乗・移送 ・ハット・ケーシング ・離法		地域・在宅看護論実習Ⅰ		生活援助技術Ⅲ → ・更衣交換 ・足浴 ・全身清拭 (陰部清拭)	生活援助技術Ⅲ → ・洗髪		診療援助技術 → ・点滴静脈内注射・輸液ポンプの取扱い ・採血法 ・皮下注射・筋肉内注射 ・救急蘇生法(AEDの取り扱い)	
2学年												
	老年看護学看護技術 → ・車椅子移乗・移動											
3学年												

看護師教育の技術項目と卒業時の到達度(学内実習・演習)

＜演習＞ I：モデル人形もしくは学生間で単独で実施できる

II：モデル人形もしくは学生間で指導の下で実施できる

学年	期	科 目	技 術 項 目	レベル	学内実習・演習
1 年	前期	共通援助技術	57 スタンダード・プリコーション(標準予防策)に基づく手洗い	I	衛生的な手洗い
			58 必要な防護用具の選択・着脱	I	滅菌手袋の装着 ガウンテクニック
					KYT演習
1 年	後期	生活援助技術Ⅰ	3 食事介助(嚥下障害のある患者を除く)	I	食事介助
			26 口腔ケア	I	口腔ケア(歯磨き・含嗽)
			7 排泄援助(床上、ポータブルトイレ、おむつ等)	I	床上排泄(便器介助)
			10 浣腸 11 摘便 12 ストーマ管理		(知識)
1 年	後期	生活援助技術Ⅱ	1 快適な療養環境の整備	I	(体験)
					ベッドメイキング
			13 車椅子での移送 14 歩行移動介助	I	体位変換、移動移乗
			15 移乗介助 16 体位変換 保持 18 ストレッチャー移送		(車椅子・ストレッチャー)
			17 自動・他動運動の援助		(体験)
			29 体温調節の援助		冷罨法・温罨法
1 年	後期	生活援助技術Ⅲ	21 点滴ドレーンなどを留置していない患者の寝衣交換	I	寝衣交換
			19 足浴 手浴	I	足浴
			25 洗髪 20 整容	I	洗髪 整容
			24 清拭	I	全身清拭
1 年	後期	フィジカルアセスメント	52 フィジカルアセスメント	I	身体診査(触診・聴診・打診)と観察
			50 バイタルサインの測定	I	バイタルサインの測定
			51 身体計測	I	身体計測
1 年	後期	診療援助技術			A E D
			56 検査の介助	I	(知識)
			54 簡易血糖測定	Ⅱ	(知識)
			55 静脈血採血 53 検体取り扱い	Ⅱ	静脈血採血
			38 経口薬 39 経皮外用薬の投与 40 座薬の投与	I Ⅱ	(体験)
			41 皮下注射 42 筋肉内注射	Ⅱ	皮下注射 筋肉内注射
			43 静脈路確保・点滴静脈内注射	Ⅱ	点滴静脈内注射(翼状針)
			44 点滴静脈内注射の管理	Ⅱ	輸液ポンプ
			62 針刺し事故防止・事故後の対応	I	(知識)
			45 薬剤などの管理(毒薬…血液製剤、抗悪性腫瘍薬含む)	Ⅱ	(知識)
			46 輸血の管理	Ⅱ	(知識)
			67 人体へのリスクの大きい薬剤の暴露予防策の実施	Ⅱ	(知識)
			56 検査の介助	I	(知識)
1 年	後期	生活援助技術実践	2 臥床患者のリネン交換		バイタル リネン交換 清拭 排泄介助
1 年	後期	老年看護学総論Ⅰ			高齢者模擬体験
2 年	前期	成人看護学方法論Ⅱ	36 創傷処置(創洗浄、創保護、包帯法)	Ⅱ	無菌操作・創傷処置
			37 ドレーン類の挿入部の処置	Ⅱ	(知識)
			30 酸素吸入療法の実施	I	酸素吸入法
			32 口腔内 鼻腔内吸引	Ⅱ	吸引法
			33 気管内吸引	Ⅱ	(知識)
			34 体位ドレナージ	I	(知識)
			31 ネブライザーを用いた気道内加湿	I	(知識)
2 年	前期	成人看護学方法論Ⅳ	48 一時救命処置	I	心肺蘇生法(一次救命処置)
			47 緊急時の応援要請	I	
2 年	前期	老年看護学方法論Ⅰ	35 褥瘡予防ケア	Ⅱ	(知識)
			65 安全な療養環境の整備(転倒・転落・外傷予防)	I	(知識)
2 年	前期	老年看護学方法論Ⅱ	23 陰部の保清		陰部洗浄 おむつ交換
2 年	前期	母性看護学方法論Ⅰ	28 新生児の沐浴・清拭	I	新生児の沐浴
2 年	後期	地域・在宅看護論方法論Ⅰ	6 経鼻胃チューブの挿入	I	経鼻胃チューブ挿入
			5 経管栄養法による流動食の注入	I	(知識)
			9 導尿又は膀胱留置カテーテルの挿入	Ⅱ	膀胱留置カテーテルの挿入
			8 膀胱留置カテーテルの管理	I	(知識)
3 年	後期	災害看護	49 止血法の実施	I	止血法
3 年	後期	看護技術統合実践	27 点滴・ドレーン等を留置している患者の寝衣交換	I	点滴留置患者の寝衣交換
			68 医療機器の操作・管理	Ⅱ	輸液ポンプ 酸素ボンベ
		共通	59 使用した器具の感染防止の取り扱い	I	
			60 感染性廃棄物の取り扱い	I	
			63 インシデント・アクシデント発生時の速やかな報告	I	
			64 患者誤認防止の実施	I	
			69 安楽な体位の調整	I	
			70 安楽の促進・苦痛の緩和のためのケア	I	
			71 精神的安寧を保つためのケア	I	
	その他		22 入浴・シャワー浴の介助	I	(知識)
			66 放射線被ばく防止の実施	I	(知識)

年間臨地実習計画表

		前期												後期											
月 週		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1 学年		夏季休暇												冬季休暇											
		基礎看護学実習Ⅱ												基礎看護学実習Ⅰ											
2 学年		成人看護学実習Ⅱ												成人看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ											
3 学年		成人看護学実習Ⅱ 老年看護学実習Ⅲ												看護統合実習											
		小児看護学実習 母性看護学実習 精神 地域・在宅												看護統合実習											

分野別実習単位・時間・実習施設一覧表

実習科目		単位	時間数	実習時期	実習施設	
専門基礎	基礎看護学実習	基礎看護学実習Ⅰ	2	90	1年次後期	社会医療法人社団三草会 クラーク病院 社会医療法人北海道恵愛会 札幌南一条病院 医療法人社団 土田病院 社会医療法人 恵佑会札幌病院 医療法人美脳 札幌美しが丘脳神経外科病院
		基礎看護学実習Ⅱ	2	90	2年次前期	社会医療法人社団三草会 クラーク病院 医療法人美脳 札幌美しが丘脳神経外科病院 医療法人社団 土田病院
	地域・在宅看護論実習	地域・在宅看護論実習Ⅰ	1	30	1年次前期	社会福祉法人三草会 リハケアセンター篠路 グループホームもえれのお家 デイサービスさすな パン工房あんびしやす 株)ツクイ ツクイ札幌麻生 看護小規模多機能型居宅介護 就労支援施設B型事業所 就労支援センター さくら 地域活動センター ウッディートイズ
		地域・在宅看護論実習Ⅱ	2	90	3年次前期	医療法人社団棕櫚の会 ホサナファミリークリニック 医療法人ささえる医療研究所 ささえるクリニック岩見沢 ささえるクリニックきたひろ 社会医療法人関愛会 江別訪問診療所 社会医療法人三草会 訪問看護ステーションアシスト 社会福祉法人三草会 訪問看護ステーションアシスト篠路 札幌東区第2地域包括支援センター
	成人看護学実習	成人看護学実習Ⅰ	2	90	2年次前期～後期	社会医療法人 恵佑会第2病院 社会医療法人社団カレスサッポロカレス記念病院 社会医療法人柏葉会 札幌柏葉会病院
		成人看護学実習Ⅱ	2	90	3年次前期	社会医療法人 恵佑会札幌病院
	老年看護学実習	老年看護学実習Ⅰ	2	90	2年次前期～後期	社会医療法人社団三草会 クラーク病院 医療法人社団 土田病院 社会医療法人柏葉会 札幌柏葉会病院 社会医療法人鳩仁会 札幌中央病院 社会医療法人社団カレスサッポロカレス記念病院 介護老人保健施設もえれパークサイド 医療法人徳洲会介護老人保健施設徳洲苑なえぼ
		老年看護学実習Ⅱ	2	90		社会医療法人社団三草会 クラーク病院 社会医療法人北海道恵愛会 札幌南一条病院 医療法人社団 土田病院 社会医療法人柏葉会 札幌柏葉会病院 医療法人美脳 札幌美しが丘脳神経外科病院
		老年看護学実習Ⅲ	2	90	3年次前期	医療法人社団 土田病院 社会医療法人北海道恵愛会 札幌南一条病院
	小児看護学実習	小児看護学実習	2	90	3年次前期	社会医療法人母恋 天使病院 小樽市立病院 医療法人稲生会 生涯医療クリニックさっぽろ 社会医療法人北楡会 札幌北楡病院 認定こども園 札幌愛隣館
	母性看護学実習	母性看護学実習	2	90	3年次前期	医療法人みらい エナレディースクリニック
	精神看護学実習	精神看護学実習	2	90	3年次前期	特定医療法人 さっぽろ悠心の郷 ときわ病院 医療法人北仁会 石橋病院 医療法人天公会 石狩ファミリアホスピタル
	看護統合実習	看護統合実習	2	90	3年次後期	社会医療法人社団三草会 クラーク病院 社会医療法人北海道恵愛会 札幌南一条病院 医療法人社団 土田病院 社会医療法人 恵佑会札幌病院

学年年間計画

1 学 年		2 学 年		3 学 年	
月	内 容	月	内 容	月	内 容
4	入学式 入学ガイダンス 新入生歓迎会 HR運営ガイダンス (学校生活、クラス役員選出) 各修学・奨学資金の説明 2・3年生実習激励会 東警察署防犯対策講話 個人情報保護法について講話 1年生間交流会 学力対策ガイダンス 学生の心構え 血液・XP撮影 計測	4	各修学資金の継続手続き HR運営ガイダンス (年内計画、クラス役員選出) 新入生歓迎会 2・3年対象実習激励会 血液・XP・計測 前期学生の心構え 学生個人指導 学校検診(校医) さわ研究所国家試験ガイダンス 学力対策	4	各修学資金の継続手続き HR運営ガイダンス (年内計画、クラス役員選出) 新入生歓迎会 血液・XP・計測 学校健診(校医) 領域別実習ガイダンス 領域別臨地実習 領域別実習個人指導 就職相談・指導 学力対策 業者模擬試験 2・3年対象実習激励会
5	学生個人面談 看護の日 学内技術実習・演習 学校健診(校医) 学力対策 学生個人指導 避難訓練	5	基礎看護学実習Ⅱガイダンス 基礎看護学実習Ⅱ臨地実習 基礎看護学実習Ⅱ実習指導 基礎看護学実習Ⅱ実習報告会 学力対策 看護の日 学生個人指導	5	看護の日 領域別実習指導 領域別臨地実習 領域別実習個人指導 国家試験業者模擬試験 就職相談・指導 学力対策 業者模擬試験
6	学生個人面談 学内技術実習・演習 遠足企画 学力対策	6	遠足企画 学生個人指導 学内技術実習・演習 看護研究導入 研究個人指導 学力対策	6	領域別実習指導 領域別実習個人指導 学力対策 業者模擬試験 就職相談・指導 領域別臨地実習
7	学生個人指導 学内技術実習・演習 戴帽式準備 1.2年合同遠足 学力対策	7	学内技術実習・演習 学生個人指導 学力対策 1.2年合同遠足 看護研究個人指導	7	領域別臨地実習 領域別実習個人指導 就職相談・指導 国家試験業者模擬試験
8	後期学校生活心構え指導 戴帽式総練習 戴帽式 地域・在宅看護論実習Ⅰガイダンス 地域・在宅看護論実習Ⅰ臨地実習 地域・在宅看護論実習Ⅰ指導 1年生実習激励会 学力対策 学生個人指導	8	学内技術実習・演習 後期学校生活心構え指導 学生個人指導 学力対策 1年生対象実習激励会 看護研究個人指導	8	領域別臨地実習 領域別実習個人指導 就職相談・指導 学力対策 業者模試
9	学生個人指導 地域・在宅看護論実習Ⅰ報告会 札幌医科大学解剖標本館見学	9	成人Ⅰ・老年Ⅰ・Ⅱ実習ガイダンス 成人Ⅰ・老年Ⅰ・Ⅱ臨地実習 成人Ⅰ・老年Ⅰ・Ⅱ実習指導 学生個人指導 看護研究個人指導 国家試験業者模擬試験	9	領域別臨地実実習 領域別実習個人指導 就職相談・指導 学力対策 業者模試
10	防火訓練 学生個人指導 前期成績会議 父母懇談会企画実施 学内技術実習・演習 学力対策	10	成人Ⅰ・老年Ⅰ・Ⅱ臨地実習 成人Ⅰ・老年Ⅰ・Ⅱ実習指導 前期成績会議 学生個人指導 看護研究個人指導	10	領域別臨地実実習 領域別実習個人指導 学力対策 業者模擬試験 就職相談・指導 国家試験ガイダンス
11	学内技術実習・演習 学生個人指導 学力対策	11	成人Ⅰ・老年Ⅰ・Ⅱ臨地実習 成人Ⅰ・老年Ⅰ・Ⅱ実習報告会 学生個人指導 学力対策 看護研究個人指導	11	父母懇談会企画実施 看護統合実習ガイダンス 看護統合臨地実習 看護統合実習個人指導 学内技術実習・演習 血液セミナー 国家試験手続き 学力対策 業者模擬試験
12	看護過程演習 学内技術実習・演習 学生個人指導 学力対策 国家試験業者模擬試験	12	学生個人指導 父母懇談会企画実施 学内技術実習・演習 看護研究個別指導 学力対策	12	看護統合臨地実習 看護統合実習個人指導 学力対策 業者模擬試験
1	看護過程演習 基礎看護学実習Ⅰガイダンス 基礎看護学実習Ⅰ実習指導 学内技術実習・演習 学生個人指導 学力対策	1	学力対策 国家試験業者模擬試験 学内技術実習・演習 看護研究個別指導	1	教員国家試験対策公開講座 教員・非常勤講師国家試験対策講義 学力対策 業者模擬試験
2	学校設立記念日 基礎看護学実習Ⅰ実習指導 基礎看護学実習Ⅰ報告会 学内技術実習・演習 学生個人指導 修学資金借用提出	2	学校設立記念日 学内技術実習・演習 学生個人指導 修学資金借用提出 看護研究個別指導	2	学校設立記念日 国家試験対策 卒業認定会議 保健師・助産師・看護師国家試験 看護協会概要説明
3	就職ガイダンス 1年次単位認定会議 卒業特別講演 予餞会 各修学・奨学資金継続準備 2年生看護研究発表聴講	3	2年次単位認定会議 就職・国家試験ガイダンス 予餞会 卒業特別講演 各修学・奨学資金継続準備 看護研究発表 実習施設関係病院説明会	3	予餞会 卒業特別講演 卒業報告会 各修学・奨学資金卒業手続き 卒業式練習 同窓会説明 卒業式

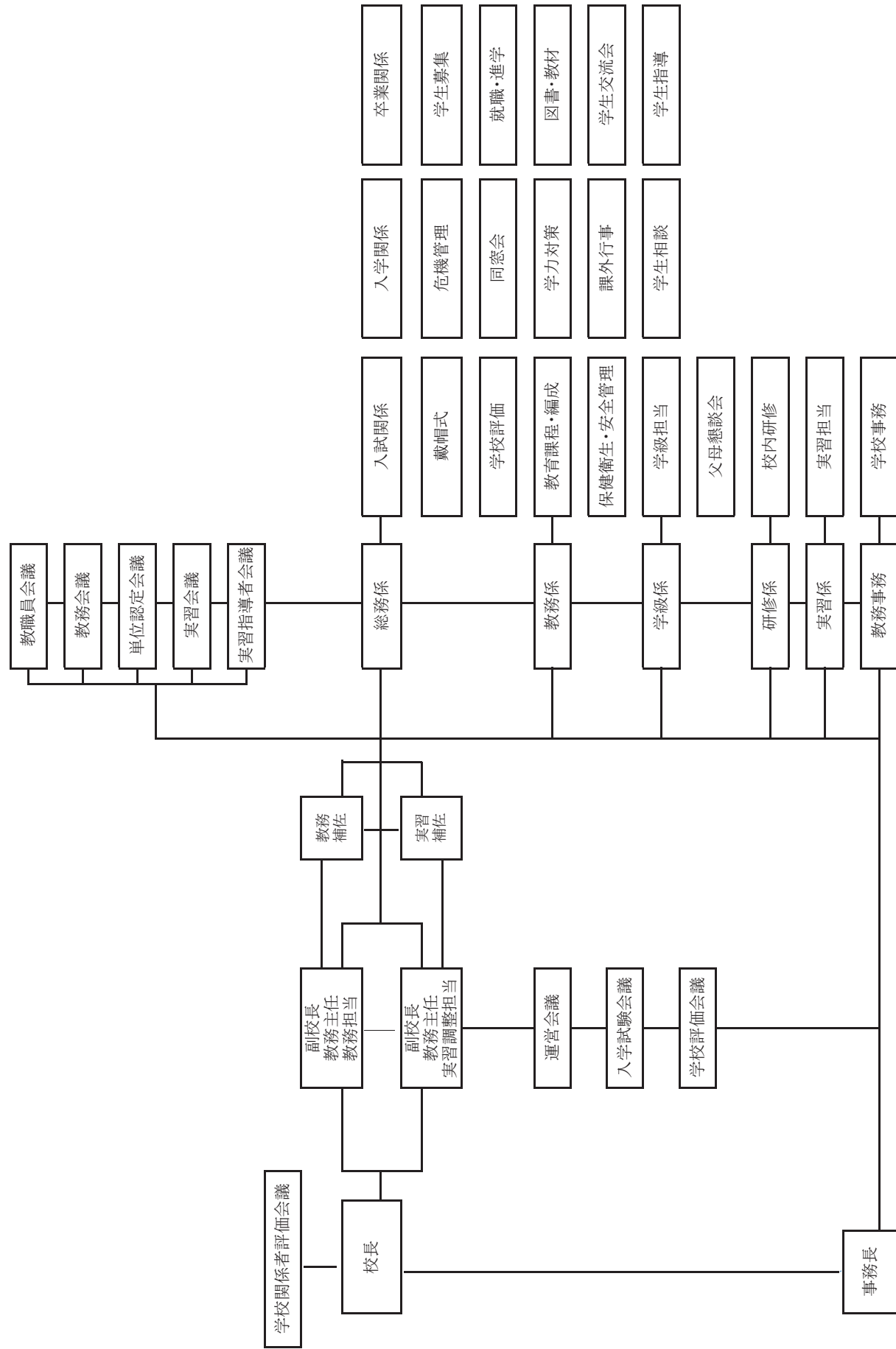
令和7年度 年間行事予定一覧表

4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1 火		1 木		1 日		1 火		1 金		1 月	1 土	1 水		1 土	1 月	1 月		1 木	元旦	1 日	学校設立記念日	1 日	第7期生卒業式
2 水		2 金	2年生基礎看護学Ⅱガイダンス/1年生履修	2 月		2 水		2 土		2 火	2 日			2 日	2 火	2 火		2 金	学校閉鎖日	2 月	2 月	2 月	
3 木		3 土	憲法記念日	3 火		3 木		3 日	2回目オープンキャンパス	3 水	3 月			3 月	文化の日	3 水		3 土	学校閉鎖日	3 火	3年生冬季休暇終了	3 火	
4 金	3年生始業/健診	4 日	みどりの日	4 水		4 金	12年生合同遠足	4 月		4 木				4 火		4 木		4 日	3年生冬季休暇終了	4 水	4 水	4 水	
5 土	9期生入学式	5 月	こどもの日	5 木		5 土		5 火		5 金	PM1年生札幌医科大学 熊本県立大学 入学試験	5 日		5 水		5 金		5 月	3年生始業	5 木		5 木	
6 日		6 火	振替休日	6 金		6 日		6 水		6 土	3回目オープンキャンパス	6 月		6 木		6 土		6 火		6 金		6 金	
7 月	2年生始業(7/1年生入学ガイダンス(7/8)3年生領域別ガイダンス(7/8,9))	7 水	2年生基礎看護学実習Ⅱ開始5/23迄	7 土		7 月		7 木		7 日		7 火		7 金	手紙き	7 日		7 水		7 土		7 土	
8 火		8 木		8 日		8 火		8 金		8 月		8 水		8 土		8 月	2年生父母面談開始	8 木		8 日		8 日	
9 水		9 金		9 月		9 水		9 土		9 火		9 木		9 日		9 火		9 金		9 月		9 月	
10 木		10 土		10 火		10 木		10 日	1年生夏季休暇終了	10 水		10 金		10 月	3年生父母面談開始	10 水		10 土		10 火		10 火	
11 金		11 日		11 水		11 金		11 月	山の日	11 木		11 土		11 火		11 木		11 日	12年生冬季休暇終了	11 水	建国記念日	11 水	実習施設説明会
12 土		12 月	看護の日/1年生選抜訓練	12 木		12 土		12 火	1年生始業	12 金	2年生成人Ⅰ・老年ⅠⅡ実習ガイダンス	12 日		12 水	3年生看護総合実習終了	12 金	成人の日	12 月	成人の日	12 木	卒業認定会議	12 木	実習施設説明会
13 日		13 火		13 金		13 日		13 水		13 土		13 月	スポーツの日	13 木		13 土		13 火	12年生始業	13 金		13 金	2年生XP採血
14 月	3年生領域別実習開始11/3迄	14 水		14 土		14 月	1年生夏季休暇開始8/10迄	14 木		14 日		14 火		14 金	2年生成人Ⅰ・老年ⅠⅡ実習終了	14 日		14 水		14 土		14 土	
15 火		15 木		15 日		15 火		15 金	戴帽式総練習	15 月		15 水		15 土		15 月	12年生冬季休暇開始 1/11迄	15 木		15 日	115回看護師国家試験	15 日	
16 水	1年生個人情報講話	16 金		16 月		16 水		16 土	1年生戴帽式	16 日		16 木		16 日		16 火		16 金	1年生基礎実習Ⅰガイダンス	16 月		16 月	
17 木		17 土		17 火		17 木		17 日	2年生夏季休暇終了	17 水	2年生成人Ⅰ・老年ⅠⅡ実習報告会	17 金		17 月		17 水		17 土		17 火		17 火	
18 金	1年生間交流会	18 日		18 水		18 金		18 月	2年生始業	18 土		18 日		18 火	PM3年生血液セミナー(現地)	18 木		18 日		18 水		18 水	
19 土		19 月		19 木		19 土		19 火		19 金		19 日		19 水		19 金		19 月	1年生基礎実習Ⅰ開始 1/30迄	19 木		19 木	
20 日		20 火		20 金		20 日		20 水		20 土		20 月		20 木		20 土		20 火		20 金		20 金	春分の日
21 月		21 水	2年生基礎看護学実習Ⅱ終了	21 土		21 月	海の日	21 木	1年生対象実習激励会	21 日		21 火		21 金	3年生看護総合実習オリエンテーション	21 日		21 水	3年生冬季休暇開始2/3迄 2週	21 土		21 土	
22 火		22 木		22 日		22 火	2年生夏季休暇開始8/17迄	22 金	実習ガイダンス/1年地域・在宅看護実習Ⅰガイダンス(22金)	22 月		22 水		22 土		22 月	3年生冬季休暇開始 1/5 2週	22 木		22 日		22 日	
23 水		23 金		23 月		23 水		23 土		23 日	秋分の日	23 木		23 日	勤労感謝の日	23 火		23 金		23 月	天皇誕生日	23 月	2年生春季休暇開始 4/5迄
24 木	2年生対象実習激励会	24 土		24 火		24 木		24 日		24 水		24 金		24 月	振替休日	24 水		24 土		24 火		24 火	
25 金		25 日		25 水		25 金		25 月	1年生地域・在宅看護実習Ⅰ開始(8/29迄)	25 木		25 土	一般入学試験	25 火	看護総合実習開始 12/12迄	25 木		25 日		25 水	卒業式練習/卒業報告会	25 水	1年生春季休暇開始 4/7迄
26 土		26 月	2年生基礎看護学実習Ⅱ報告会	26 木		26 土	1回目オープンキャンパス	26 火		26 金		26 日	一般入学試験	26 水		26 金		26 月		26 木	卒業式練習/卒業報告会	26 木	12年生認定会議
27 日		27 火		27 金		27 日		27 水		27 土		27 月		27 木		27 土		27 火		27 金		27 金	
28 月		28 水		28 土		28 月		28 木		28 日		28 火		28 金		28 日		28 水		28 土		28 土	
29 火	昭和の日	29 木		29 日		29 火		29 金	1年生地域・在宅看護実習Ⅰ終了	29 月	1年生父母面談開始	29 水		29 土		29 月		29 木				29 日	
30 水		30 金		30 月		30 水		30 土		30 日		30 火	1年生防火訓練	30 日		30 火		30 金	1年生基礎実習Ⅰ終了/実習報告会			30 月	
		31 土				31 木		31 日				31 金	前期成績会議			31 水		31 土	学校閉鎖日			31 火	

10期入学式4/4(土)予定

<学校運営組織図>

1. 校務分掌組織図



係りの重点目標

係	重点目標
総務係	・各係、各学年との連絡を密にして学務内容の充実、運営の円滑化を図る
教務係	・教育課程の適切な構成と運用を行い、各分掌や各学年間の連絡調整に努め、校務運用の円滑化を図る
学級係	・集団への適応力を高め協調性（協働による仲間作り）を養う ・授業規則と学習の習慣・定着をはかり、基礎学力の向上を図る ・集団生活を通して自己を認識させるとともに主体的規律ある生活習慣の確立を図る
実習係	・教育課程達成のため、各係及び各実習施設との連携を図り、適切な実習計画を立案し、実習に内容の充実を図る
教員研修係	・教育実践力を高め、教員の質向上を図る
教務事務	・各係と連携を図り、教務資料の準備、作成、整理、データ処理を行う

校務分掌担当教員

係名	責任者	教職員名
総務係	校長	藤原副校長(教務主任兼務・実習担当) 事務長 櫻井副校長(教務主任兼務・教務担当)
教務係	櫻井副校長 (教務主任兼務・教務担当)	藤原副校長(教務主任兼務・実習担当) 吉田教務補佐
学級係	櫻井副校長 (教務主任兼務・教務担当)	1年担任 中村 副担任 吉田 学年担当 成田 2年担任 鎌田 副担任 齊藤 学年担当 富田 3年担任 三上 副担任 坂本 学年担当 櫻井副校長 原谷 中川 堺
実習係	藤原副校長 (教務主任兼務・実習担当)	櫻井副校長(教務主任兼務・教務担当) 齋藤実習補佐 成田 三上 坂本 吉田 鎌田 成田 中村 富田 井上 佐々木 原谷 中川 堺
教員研修係	吉田教務補佐	三上 齊藤 坂本 中村
教務事務	松田事務長	松井

校務分掌 業務分担

係り	責任者	業務	主幹	担当教員
総務係	校長	入学試験	校長	藤原 櫻井
		入学式	校長	藤原 櫻井 中村 吉田 成田
		卒業式	校長	藤原 櫻井 三上 坂本
		戴帽式	校長	藤原 櫻井 中村 吉田 成田
		危機管理	校長	藤原 櫻井 吉田 齊藤
		学生募集 広報活動	校長	藤原 櫻井 事務長 吉田 齊藤 三上
		就職・進学	校長	藤原 櫻井 三上 坂本
		同窓会	校長	藤原 櫻井 事務長
		学校評価	校長	藤原 櫻井 事務長 他全教職員
		学校関係者評価	校長	事務長
教務係	櫻井	教育課程編成	校長	藤原 櫻井 吉田 齊藤
		教育計画	校長	吉田
		授業計画	櫻井	吉田 専門分野は各看護学担当者
		学生便覧	櫻井	吉田
		学力対策 国家試験対策	藤原	櫻井 中村 鎌田 三上 他全教員
		図書・学生図書教材	成田	三上 齊藤 富田 事務長
		保健衛生・安全管理	鎌田	藤原 中村 齊藤 富田
		課外行事・学生交流会	坂本	吉田 鎌田 成田 中村 富田
		就職・進学相談	校長	櫻井 三上 坂本
学級係	櫻井	学級担当 学生相談・学生指導	中村 鎌田 三上	吉田 成田 齊藤 富田 坂本
		時間割調整	櫻井	藤原 吉田 中村 鎌田 三上
		父母懇談	櫻井	中村 鎌田 三上
実習係	藤原	臨地実習要綱 臨地実習指導要綱 各臨地実習会議企画 臨地実習関係書類作成	藤原	齊藤
		各看護学実習要綱 各看護学実習指導要綱		基礎看護学・看護統合担当 藤原 地域・在宅看護論担当 櫻井 成人看護学担当 三上 老年看護学担当 齊藤 小児看護学担当 坂本 母性看護学担当 吉田 精神看護学担当 鎌田
教員研修係	吉田	校内研修	三上	坂本 中村 齊藤
教務事務係	事務長	教務事務	事務長	松井

領域別看護学担当教員及び業務マトリックス

	校長	藤原	櫻井	三上	齊藤	吉田	坂本	鎌田	成田	中村	富田	事務
科目の担当領域		基礎看護学 看護の概念と実践	地域・在宅看護論	成人看護学	老年看護学	母性看護学	小児看護学	精神看護学	成人看護学	老年看護学	成人看護学	
		(基礎看護技術)	(基礎看護技術)	(基礎看護技術)	(基礎看護技術)	(基礎看護技術)	(基礎看護技術)	(基礎看護技術)	(基礎看護技術)	(基礎看護技術)	(基礎看護技術)	
総務係	入試	☆◎	○									○
	入学	☆◎	○			○			○	○		○
	卒業	☆◎	○		○		○					○
	戴帽式	☆◎	○			○				○		○
	危機管理	☆◎	○		○	○						○
	学生募集	☆◎	○	○	○	○						○
	就職・進学	☆◎	○	○			○					○
	同窓会	☆◎	○									○
	学校評価	☆◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	学校関係者評価	☆◎										○
	教育課程編成	◎	○	☆	○							○
	教育計画	☆◎				○						
	授業計画	○		☆◎		○						○
	学生便覧	○		☆◎		○						
教務係	学力対策(国家試験を含む)		◎	☆	○	○	○	○	○	○	○	
	図書・教材			☆	○				◎			○
	保健衛生・安全管理		○	☆				◎			○	○
	課外行事・学生交流会			☆		○	◎	○	○	○	○	○
	就職・進学相談	◎		☆	○		○					
	学級担当 学生相談・指導			☆	◎3学年 担任	1学年 副担任	3学年 副担任	◎2学年 担任		◎1学年 担任		○
	時間割調整		○	☆◎	○	○			○			
	父母懇談			☆◎	○				○			○
	実習担当		☆◎	○	○	○	○	○	○	○	○	
	校内研修・研究グループ				◎	☆	○			○		
実習係												
研修係												

☆印は責任者 ◎印は主幹 ○は担当者

7期生 看護研究

担当教員	学生氏名	テーマ
藤原 未央	東野 美子	認知機能が低下している患者の便秘解消に向けた援助 ―排便を促す看護技術の実践がもたらした意義―
	石田千愛	アルツハイマー型認知症を患っている対象との関わり方 ―信頼関係の構築に繋がるコミュニケーションとは―
櫻井 美奈子	秋元 咲花	感染予防行動の定着が必要な患者への支援 ―病歴が長く指導経験のある患者からの学び―
	渡辺 裕未	対象の思いに寄り添う看護とは ―食思不振のある患者との関わりから学んだこと―
齊藤 まどか	上野 永遠	患者の不安を軽減する看護 ―認知症患者の周辺症状対応について―
	酒井 実花	内服の自己管理が困難な患者への関わり ―認知機能の低下を予防する継続看護―
	櫻田 望緒	歩行時にふらつく高齢者への声掛け ―認知機能の低下が招く転倒を予防するための関わり―
	中林 美紗	気分変調症がある高齢者との信頼関係の構築について
三上 麻美	大林 咲月	アルツハイマー型認知症患者との関わり方 ―患者を尊重した個性のある看護の提供―
	坂下 陽菜	自己排痰を継続的にいき、自己管理が必要な高齢者への退院指導 ―個性に合わせた退院指導の必要性―
	水野 志保	硬膜外血腫患者に対する再梗塞防止のための観察と退院指導
中村 恵子	安部 桜	不安を抱く対象に対するコミュニケーション方法 ―看護とコミュニケーションの関連性―
	佐藤 輪架	失語症のある患者とのコミュニケーション ―対象を理解する姿勢の必要性―
	丹野 希世子	認知機能が低下している対象への食事援助
	宮下 夏実	信頼関係を深めてわかる看護援助の個性
坂本 容子	中嶋 夏実	自宅退院を目指しADL向上に励む患者への看護 ―過剰援助の影響から考える―
	西内 茜	患者の残存能力を活かし自立を促す援助
	松田 梨乃	認知機能の低下している対象の理解 ―検査の説明をして気づいた事例からの学び―
	山下 ひなの	短期記憶障害のある対象理解 ―化学療法中の関りからの学び―
鎌田 たまみ	石川真梨絵	患者の個性を考えた退院指導について ―退院後の食のニーズの充足に向けての退院指導での学び―
	富永 直	高次機能障害のある患者とのコミュニケーション ―感情失禁と失語症がある患者との関わりを通して信頼関係構築に必要なこと―
	長野 愛羅	看護におけるコミュニケーションの重要性 ―信頼を得られるコミュニケーションの取り方について―

担当教員	学生氏名	テーマ
成田 淳人	伊勢谷 ひかる	低栄養状態にある患者への食事指導 —対象が主体的に取り組むためのアプローチ方法—
	千葉 綾子	不安が強い患者への個別性ある援助について
浦島 愛佳	橋本 すず奈	対象との信頼関係を作るコミュニケーションとは —対象の性格を理解することの重要性—
	三浦 莉世	退院に向けてのセルフケアの確立とは
	武者 楓	対象の「ニード」に合わせた療養指導の必要性 —個別性のある退院指導に向けて—
	山崎 恭佳	回復期にある患者に対する見守る看護の必要性 —できる力を最大限に生かし安全に配慮した援助—
原谷 珠美	伊藤 なつみ	皮膚掻痒感のある認知機能の低下した患者への関わり —身体抑制された患者のQOL向上に働きかける看護—
	河辺 万桜	食欲が低下している高齢患者への食事摂取を促すための援助
	森澤 舞	せん妄により認知機能の低下が見られた超高齢患者への援助
	渡邊 遥香	同名半盲により視野障害のある患者への退院後の 自立した生活に向けた援助
吉田 かつえ	小川 歩水	対象の安全・安楽を考えた看護学生の倫理行動とは
	嵯峨 凜音	患者の意向を尊重した排泄の観察・援助を行うということ
	半田 茜莉	休息とコミュニケーションのジレンマ —易疲労性のある対象との関わりからの学び—
	松岡 璃杏	学生とのかかわりを拒否した認知症高齢者からの学び

出身校入学者数

(順不同)

高等学校名	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
	1期生	2期生	3期生	4期生	5期生	6期生	7期生	8期生	9期生
1 札幌北斗	1	1	1	4	2	3		2	1
2 石狩翔陽		1		2	2	3	3	2	1
3 札幌英藍	1	3	1		6	1	1		1
4 札幌創成	2	2		2		1	1	1	1
5 札幌北陵	1	5	1			1	1		1
6 小樽桜陽	1		1	1	1			2	2
7 とわの森三愛			1			1	2		1
8 札幌あすかぜ(旧稲西)			1			2	1		1
9 小樽水産							1	2	1
10 小樽未来創造						1	1	1	1
11 札幌日本大学高校	1	1				1			1
12 江別	1		1		1				1
13 札幌光星	1					1			1
14 札幌静修	1				1				1
15 札幌龍谷	1			1					1
16 千歳	1			1					1
17 池上学院							1		1
18 北星学園大学附属			1						2
19 名寄		1							1
20 藤女子									1
21 当別									1
22 霧多布									1
23 北海学園札幌				1		1	2	1	1
24 札幌北		1			1		1		
25 石狩南			2	2	2	2	1	3	
26 札幌手稲	2	2			1		2		
27 札幌啓成	1			1			1		
28 札幌西陵	1	3	2	1					
29 北海道科学大学					2	2		2	
30 札幌東陵		1	1	2	1	2	2	2	
31 札幌稲雲		2	1	1	3	2		1	
32 札幌厚別			2		1		1		
33 札幌東商業			1	1	2				
34 札幌国際情報				4					
35 北星学園女子				2	1				
36 札幌新川	1	1			1				
37 札幌啓北商業	1	1	1			2		1	
38 札幌平岸	1	1		1		1	2		
39 札幌山の手	1	2					1	1	
40 札幌清田		1	2			1		1	
41 札幌丘珠	1	1	1	1				1	
42 札幌白石	2		1		2				
43 札幌藻岩	1	1	1	1	1				
44 苫小牧南							3	1	
45 別海				1	1		1	1	
46 札幌真栄	1	1	1					1	
47 恵庭北			1	2					
48 東海大札幌		1	1	1					
49 倶知安							1	1	
50 日本放送協会学園							2		
51 岩見沢西			1				1		
52 檜山北		1				1			
53 寿都		1				1			
54 小樽双葉		1				1			
55 岩見沢緑陵				1	1				
56 北見藤	1				1				
57 北広島西			1	1					
58 札幌大谷	1		1						
59 大麻						1			
60 滝川西	1	1							
61 帯広大谷								1	
62 旭川東栄								1	
63 中標津								1	
64 札幌聖心女子								1	
65 室蘭清水丘								1	
66 函館商業								1	

高等学校名	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
	1期生	2期生	3期生	4期生	5期生	6期生	7期生	8期生	9期生
67 留萌							1		
68 根室							1		
69 広尾							1		
70 北海道文教大学付属							1		
71 聖隷クリストファー							1		
72 北海					1		1		
73 函館西							1		
74 有明							1		
75 青森山田						1			
76 飛鳥未来						1			
77 小樽商業						1			
78 札幌大通						1			
79 札幌工業						1			
80 札幌琴似工業						1			
81 札幌白陵						1			
82 秋田県立雄物川						1			
83 札幌平岡					1				
84 室蘭商業					1				
85 釧路商業					1				
86 釧路東					1				
87 剣淵					1				
88 厚真				1					
89 旭川農業				1					
90 恵庭南				1					
91 登別明日				1					
92 中京女子大附属				1					
93 旭川西			1						
94 旭川永嶺			1						
95 音更			1						
96 帯広南商業			1						
97 滝川			1						
98 浦河			1						
99 紋別			1						
100 国立苫小牧工業高等専門			1						
101 遺愛女子			1						
102 青森弘前工業			1						
103 相生学院			1						
104 有朋		1							
105 立命館慶祥		1							
106 妹背牛商業		1							
107 札幌新陽	1								
108 札幌東	1								
109 北海道文教大学明清	1								
110 旭川実業	1								
111 旭川龍谷	1								
112 野幌	1								
113 市立函館	1								
114 帯広北	1								
115 奥尻	1								
116 北海道栄	1								
117 鹿追	1								
118 千葉県立我孫子	1								
119 その他								1	
計	40	40	40	40	40	40	41	34	25

(順不同)

卒業年		2020	2021	2022	2023	2024	2025
施設名		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
北海道内	恵佑会札幌病院	1	1	7	3	2	
	恵佑会第2病院						1
	カレス記念病院	5	4	3	5	6	5
	札幌柏葉会病院	3	1	4	3	1	4
	札幌中央病院	1	3	2	1	3	2
	札幌東徳洲会病院	3		2	2	2	1
	イムス札幌消化器中央総合病院	2	2		2	2	
	愛全病院	1	2	2	1		
	札幌南一条病院	2	1	2		1	
	土田病院			1	1	2	1
	手稲溪仁会病院	2			1		
	北海道大野記念病院	1	2				
	J R 札幌病院	2	1				2
	北海道大学病院			1	1	1	
	道立 子ども総合医療・療育センター		1	1		1	
	天使病院		1	1			
	札幌清田病院	1	1				
	札幌真駒内病院				1		
	勤医協苫小牧病院				1		
	札幌北辰病院				1		
	JCHO北海道病院			1			
	KKR札幌医療センター			1			
	愛育病院			1			
	札幌慎心会病院			1			1
	東札幌病院			1			
	NTT東日本 札幌病院		1				
	国立 北海道医療センター		1				1
	定山溪病院		1				
	札幌市立病院		1				
	札幌整形循環器病院		1				
	クラーク病院		1				2
	新札幌脳神経外科病院						1
	北海道整形外科記念病院		1				
	町立別海病院					1	
	札幌西門山病院	1					

(順不同)

卒業年		2020	2021	2022	2023	2024	2025
		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
北海道内	札幌徳洲会病院					4	
	小樽市立病院		1		2		
	美しが丘脳神経外科病院						1
	国立病院機構帯広病院	3					
	済生会小樽病院		1		1	1	2
	江別市立病院	1		1		1	
	浜和会江別病院	1		1		1	
	石狩病院				1		1
	晴生会さっぽろ病院						1
	名寄市立総合病院				1		
	倶知安厚生病院				1		
	帯広協会病院			1			
	帯広厚生病院			1			
	慶愛病院		1				
	市立千歳市民病院	1					
	札幌心臓血管クリニック					1	
	サビース付高齢者住宅ライフシップ 大塚					1	
	札幌秀友会病院					1	
	済生会小樽病院 重症心身障がい児(者)施設みどりの里					1	
	市立室蘭総合病院					1	
	製鉄記念室蘭病院	1					
道外	日本医科大学付属病院		1		1		
	小倉記念病院						1
	東京慈恵会医科大学附属病院		1		1		
	昭和大学病院		2				1
	千葉県救急医療センター	2					
	西湘病院				1		
	昭和大学藤が丘病院				1		
	成田赤十字病院			1			
	相武病院			1			
	北里大学病院			1			
	東京都東医療センター	1					
	東京都健康長寿医療センター	1					
	東京西徳洲会病院					1	1
	埼玉県森林病院	1					
合計		37	34	38	33	35	29

【入学在籍状況】

(単位：人)

期	1期生			2期生			3期生			4期生		
年	2017	退学	卒業	2018	退学	卒業	2019	退学	卒業	2020	退学	卒業
区分	入学			入学			入学			入学		
全体数	40	3	37	40	4	36	40	3	37	40	7	33
うち男子	4	0	4	2	0	2	2	0	2	5	1	4

期	5期生			6期生			7期生			8期生		
年	2021	退学	卒業	2022	退学	卒業	2023	退学	卒業	2024	退学	卒業
区分	入学			入学			入学			入学		
全体数	40	2	37	40	7	29	40	1		34	1	
うち男子	6	0	6	6	3	3	6	0		5	0	

【看護師国家試験結果状況】

年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
国家試験回数	109回	110回	111回	112回	113回	114回
全国合格率	89.2%	90.4%	91.3%	90.8%	87.8%	90.1%
看護師養成校(新卒)	94.7%	95.4%	96.5%	95.5%	93.2%	95.9%
本校合格率	91.9%	94.1%	94.7%	97.1%	97.2%	100.0%

【2024年度 専任教員年間研修・研究実績】

1. 事例検討会 学会報告会

月	内容
5	1.授業研究
6	1.授業研究
3	1.年間研修計画領域別学会・研修会参加報告会 2.学生に関する事例

2. 教育実習受入状況

月	内容
10	北海道専任教員養成講習会

3. 各領域別学会参加研修

主催／学会名	領域	参加教員
日本看護学教育学会 第34回学術集会	基礎看護学	藤原 未央
日本地域看護学会 第27回学術集会	地域・在宅看護論	櫻井 美奈子
日本母性看護学会 第26回学術集会	母性看護学	吉田 かつえ
日本慢性看護学会 第18回学術集会	成人看護学	三上 麻美
日本慢性看護学会 第18回学術集会	老年看護学	齊藤 まどか
日本小児看護学会 第34回学術集会	小児看護学	坂本 容子
日本精神保健看護学会 第34回学術集会	精神看護学	鎌田 たまみ
日本赤十字看護学会 第25回学術集会	成人看護学	成田 淳人
日本慢性看護学会 第18回学術集会	成人看護学	浦島 愛佳
日本看護学教育学会 第34回学術集会	老年看護学	中村 恵子